教科 国語 科目 言語文化 単位数: 2 単位 高等学校 令和7年度(1学年用)

教 科: 教科 国語 科 目: 言語文化

対象学年組:第 1 学年 教科担当者:比企 一哲 使用教科書: 新編 言語

新編 言語文化 (大修館書店)

使用教科書: 新編 言語文化 (大修館書店) 教科 教科 国語 の目標: 【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 『学びに向かう力、人間性等』 言語文化 の目標: 【 国表力 判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性

(型に対している) 「関連及び技能」 (型域及び技能] 「関連的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりず 言葉がもつ価値への認識を深め、誘害に親しみ自己を向上さ身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理 る力を伸ばし、他者との関わりの中で、自分の思いや考 せ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他解を深めることができるようにする。 おかせ会に関わろうとする態度を養う。 おかせ会に関わるうとする態度を養う。

「		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		領域	ŧ	評価規準	知	思	態	配当
1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1				間	書	読				_	時数
選択であり 大変の機能のしから必要のしかでに登記		 ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」 「季節の言葉と出会う」 	葉が果たしている役割を理解する。		0		・言葉に文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 旧恵寺・明時、表現] ・「読むこと」において、文章の機類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的構にとらえている。 日主体的に学習に取り組む態度] ・言葉についての事者の考えを認み取ることに興味をもち、日常使っている。		0	0	6
2 古たに関しか		2 表現を味わう 「水かまきり」	想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目				・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むことり、において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色に ついて評価している。 ・「神俗・神俗別で下り、日本・雑食」	0	0	0	5
1 日 1 日本		定期考査						0	0		1
・ 議事に関した		1 古文に親しむ 「古文への招待」	て理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリ			0	- 言葉の文化機派、発展、創造を支える働きを理解している。 が期の社通や実施の文化的特殊とだよら文字で重要の変化について理解 を指導力・温力を増生している。 ・「終たこと」において、作品や女郎におれているものの見か、窓じか、考 え方を使え、内容を解釈している。 「課むこと」において、文室の構成や展開、表現のしかた、表現の特色に ・「記さいと」において、文室の構成や展開、表現のしかた。表現の特色に ・「記さいと」において、文室の構成や展開、表現のしかた。表現の特色に ・「正常などまと」において、文章の構成や展開、表現のしかた。表現の特色に ・「正常など歌と」とに興味をもち、簡繁的に言葉したり響きやリズムを味わっ	0	0	0	8
日本文化の特徴について、業者の主張をとし、		1 漢文に親しむ 「訓読のきまり」 「格言」	・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係につ			0	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理 財している。 ・古典の世界に親しむために、古典を彼むために必要な文語のきまり、古典等作の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「該社こと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、我が国の言語文化に ついて自分の考えをもっている。 1本体的: 学習におりまり事件を第1		0	0	7
3 文化を見つめる 5-2.6 1 本文化の 1 日記は2009年7日 1 日は2009年7日 1 日は2009年7日 1 日は		定期考査						0	0		1
(金銭の大阪) (本) からから、古書作品といいた。		3 文化を見つめる 「足し算の文化」	らえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の		0		・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理 据している。 【思考・判断・表型】・ 「酸なこと」とおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などに 「主体的に子習に取り証と地友」といる。 1主体的に子習に取り証と地質」 ・日本文化の特定といて業者の立正要ととうえることに興味をもち、日本文	0	0	0	8
古文編	学	4 物語を受け継ぐ	化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、			0	・常用原字の認かに慣れ、土佐常用度字を書き、文章の中で使っている。 言語文化への到解につかがる態かの意象について振移と落めている。 「思考・判断・表現] ・「酸むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考 え方を収え、内容を解散している。 「酸むこと」において、文章の情故や展開、表現の仕方、表現の特色につ 「能効こと」において、文章の情故や展開、表現の仕方、表現の特色につ 「主体的に学習に取り組下極度」 ・言葉がもの機能への複数を実施、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関 ・言葉がもの機能への複数を実施、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関		0	0	7
個報を楽しむ 作務のものの見方や感じ方について、自分 介養之をもつ。		定期考査						0	0		1
□		2 随筆を楽しむ 「徒然草」	理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分			0	・古典の世界に観しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典 特有の表現などについて開発している。 [思考・判断・表現]・ 「落くこと」が表現した。 が表している。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	0	0	0	7
一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般		2 現代に生きることば 「守株」 「五十歩百歩」 「蛇足」	る。 ・この話で語られている教訓の意義を理解す			0	・古典の世界に限しむために、古島を彼むために必要な文語のきまり、古典等の表現などいいて理解している。 日思寺、判断・表現1 ・「彼たこと」において、文章の機類を踏まえて、内容や構成、展開などについて確認を払い指揮に扱えている。 大学を表し的機能は表している。 大学を表し、対象を解析している文章に表れているものの見方、感じ方、考えがを表し、大学を解析している文章に表れている。 1主体的に学習に取り組下地度1 ・漢文工興味をもち、漢文を競が予習に意欲的に取り組み、故事成語の理解。	. 0	0	0	6
### 1		定期考査						0	0		1
3 物語の広がり (伊勢物語) (平家物語) (平家物語) (平家物語) (平家物語) (中野物語) (中野的語) (中野物語) (中野物		5 ことばと生きる	想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目			0	 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】・ ・読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 「土体的に学習に予り知か維度」 		0	0	5
本語の記 (小子本 上部にこの 大子のこと 1 本語にこの 大子のこと 1 古典の世界に乗しむために、書店を設たかにを要な文部のきまりや訓練	学	3 物語の広がり 「伊勢物語」	する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で			0	・古典の世界に親しむために、古典を談むために必要な文語のきまり、古典 特有の表現などこいて質解している。 [思考・判断・表現] ・「歳むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などに ついて誠迷を基に的線に投えている。 いて、文章の情報や展開、表現の仕方、表現の特色について質をしていて、文章の情報や展開、表現の仕方、表現の特色に して経過していて、文章の情報や展開、表現の仕方、表現の特色に 「上体的に学習に取り報告機度」	0	0	0	6
		3 古人に学ぶ	生について孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想と現代との関わりについて、自			0	・古典の世界に限しむために、古島を彼むために必要な文語のきまりへ前 のきまり、古典等行の表現などにいて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「酸けこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考 太方をとらえ、内容を解している。 ・「酸けこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、 ・「酸けこと」に対して、作品ではこかで、百分の考えをもっている。 ・「主体的に学習に取り銀げを記している。」 ・「漢文を終す」とに興味をもち、「診断」と呼ばての聞わりについて考えを	0	0	0	8
		定期考査						0	0		1
			•						•		合計 78

教科 国語 科目 現代の国語 単位数: 2 単位 高等学校 令和7年度(2学年用)

教 科: 教科 国語 科 目: 現代の国語

数 付: 数付 iiiiii 付: を 対象学年組:第 2 学年 教科担当者: 比企 一哲 使用教科書: 新編 現代の国語(大修館書店)

使用教科書: 新編 現代の国語(大修館書店))					
教科 教科 国語 の目標:							
【知識及び技能】 生涯にわたる	【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。						
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。							
【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値	直への認識を深め言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊	重してその能力の向上を図る態度を養う。					
科目 現代の国語 の目標:							
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】					
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ば し、言語感覚を磨く。	進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実 を図る態度を育てる。					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・開	領域書	t 読	評価規準	知	思	態	配当時数
	1 ことばをひらく ・ことはの学びに向けて 「『変わる』ことを楽しもう」 「コミュニケーションは技術だ」	筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学 習に対する意欲を持たせる。			0	「知識、共産】 ・主張と接続などの関係について関解している。[2]ア] 「思考・判断・表現] ・「認むこと」において、文章の機類をふまえて、内容や構成、論理の展開 などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。[2] 【主体のに学習に取り組む極度】 ・筆者の主張をあまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとし でいる。	0	0	0	6
	1 ことばをひらく・ことばの準備体操	発音や開き方に注意して話したり聞いたりす るようにする。 読みやすくわかりやすい字で正確に書けるよ うにする。 声量や速さ、間、強弱を工夫して音読できる ようにする。	0			知識、技能 ・音楽の大切さを管職し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」 「開く」「書く」「説む」活動に取り組んでいる。 [1]) ア] ・話し言葉と書き演物等後を登越し、はっきりした発音、適切な関く姿勢、読み手にとってわかりやすい字形。音談の工夫に注意しながら活動に彫り組んでいる。 [1]4、ケ、ユ! 【主体的に学習に取り組と態度】 ・「話す」「関く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。		0	0	4
1	定期考査						0	0		1
- 学期	2 日本語を使いこなす ・ことばの使い分け	場面や目的に応じて適切な言葉を選べるよう にする。 歌語の正しい使い方や頸義語のニュアンスの 述いを理解し、適切に使いわける。	0			「知識、技程】 ・場面で目的に応じた適切な言葉、軟語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 [(1) / 7] 「思考・制物・表現」としておいて、話し言葉の特徴をかまえ、場面に応じ、 ・選切と言葉や現金と正大している。 [(4) (7) / 7] ・「書くこと」において、場面で目的に応じた適切な言葉を選び、表現のし かたを工夫している。 [[4] (1) / 7] 「主体的に学習に別、単出機関、 ・言葉を正しく使い分けることに思索をもち、言葉を意識して、自らの言語 生活を含かにしようとしている。	. 0	0	0	8
	2 日本語を使いこなす ・正しく書こう ・文を整え、文をつなぐ	正しく適切な表記について理解させる。表記 や係り受けに注意して、正確で整った文を書かせる。原稿用紙の使い方を学ばせる。		0		知識・技能 ・ 書き書館の特徴や役割。 表現の特色をあまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や背楽部について到鮮して使っている。 [(1) 対] ・ 文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解している。 [(1) 対] [思考・英規・判断] ・ 「書くこと」において、自分の考えやことがらが的端に伝わるように、文 は上体的に「書き取り割け無数」 ・ 文を要えたり接続表現を通切に用いたりすることに、意欲的に取り組も 多している。 [261 対]	0	0	0	8
	定期考査		f				0	0		1
	3 わかりやすく説明する ・説明のしかたをとらえよう 「人間はゴリラとチンバンジーのどちらに近いか」 「ナンバーワンか、オンリーワンか」	説明のしかたに注意して文章を誘ませる。 順序を表す言葉や接続表現、問題根拠と答え に着目して、文章の構成をつかませる。			0	【知識・技能】 ・ 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 [13月] の情報と一般化された情報との関係について理解している。 [22] 1、 教訓・表現1、「内容や構成、論理の展開などについて叙述をもと に的確にとらえ、要当や集化を把握している。 [31] 1、 技能により表し、要当を集を主理している。 [31] 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 0	0	0	8
2 学期	3 わかりやすく認明する・ *給や写真をせつめいしよう・料理レシビを書こう	絵や写などの情報を説明する文章を書かせる。 るの あかりやすい説明のしかたを工夫して書かせる。		0		「知識・技能」 ・正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、比喩や例示などの修修を用いたりしている。 [IIIイ、エ、カ] ・ カカリウヤで、使明するために効時の女での出かってを理解している。 [II U.S. エ、カ」 ・	0	0	0	7
	定期考査						0	0		1
	4 開く力を育む ・聞き取りのレッスン ・ミニインタビューをしよう	大切なことを落とさずに、正確に関かせる。 自分にとって必要な情報を意識して、メモを 取りながら関かせる。 必要な情報を相手から引き出せるよう、質問 しながら聞かせる。 話の展開に注意し、話を広げたり深めたりし ながら関かせる。	0			知識、共能] ・ 話し意像の特徴や表現の特色をかまえ、正確に関き取っている。 [1] 7] 思男・判断・表現] ・ 「語十三生 原しこと」において、必要な情報を意識しながら関き、情等 を適切に整理している。 [4] 12] 12 14 14 15 15 16 17 17 17 18 18 18 18 18	0	0	0	6
	5 論理を読み取る ・論理の展開を読み取ろう 「オカビの胃を読み取ろう 「オカビの胃後はいくつか」 「商品と贈り物の違い」 「水の東西」	主語と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえさせる。 論理のな文章の要旨を的確に読み取らせる。 論理的な文章の要旨を的確に読み取らせる。			0	知識、北接 - 主要と掲載と情報と情報との関係について理解している。[227] - 主要と掲載など情報と情報との関係について理解している。[227] - 強制の情報と一般化された情報との関係について理解している。[237] - 「設むこと」において、文章の機能をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて放送をもとに的様にとらえ、要旨や要点を把握している。[317] - 【注体的に学習に取り組か勘度】 - 情報的に学習に取り組み、主張とその根拠、具体と抽象の関係をとらえようとしている。) (0	0	7
	定期考査						0	0		1
	6 伝え合いのレッスン・対話のレッスン・テーマを決めて話し合おう	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしか たを理解させる。 コミュニケーションにおける言葉以外の要素 の大切さを知り、対話に生かさせる。	0			【加票・技能】 ・ 話し音樂の神色とかまえ、相手や場面に配慮した音楽道いや表現のしかた ・ 話し音樂の神色とかまえ、相手や場面に配慮し、音楽以外の要乗 ・ 「独写生、神脈、大規門。 ・ 「話すこと・順でこと」において、相手や場面に配慮し、音楽以外の要乗 ・ 「話すこと・順でこと」において、相手や場面に配慮し、音楽以外の要乗 ・ 「話歌しながら、筋の内容や支援のしかたを工夫している。 [AI]ア、ウ] 【主体的に学習に取り報比を練了	0	0	0	5
3 学期	7 説得力を高める ・意見文の基礎を学ぼう ・反対意見を想定した意見文を書こう	意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを 理解させる。 意見、理由を備えた基本的な意見文を書かせる。 反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力 のある意見文にまとめる。		0		【知識・技能】 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 「思考・判断・表現】 ・ (事なこと」とおいて、過失か一の理解が得られるよう、意見と理由(根 別)の関係を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 [81]は7] ・ 「書なこと」とおいて、推薦の観念を理解して自分が書いた文章を見度 し、文章を体を整えたり改善したりしている。 [81]は7 「土体的に学習に取り組と想度】・ 2 ・意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとしている。	0	0	0	6
	8 情報と向き合う ・情報を吟味しながら読もう 「情報の力関係」 「世界は私にほほえんでいる」	規点や根拠に注意し、情報を吟味しらから読ませる。 図表などから必要な情報を読み取らせる。 図との関係に注意しながら、文章を読み取ら せる。 文字・図形・絵などが読者に与える効果の違 いについて考えさせる。			0	【知識・技能】 ・主張上提携など情報と情報との関係について理解している。[(2) ア] ・主張上提携など情報と情報との関係について理解している。 [(2) ア] ・情報の妥当性で情報性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 [(2) 平] ・「設たこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係 フリナカが、大郷の構成や描述の展開などがで評価とかし、自分の考えを保めている。[(1) イ] 上洋外に子書したりし、自分の考えを保めている。[(2) (1) イ] こは今に子書したりし、自分の考えを保めている。[(2) (1) イ) ・「しゃん」・「おり、最も態と、「しゃん」・「しゃ		0	0	8
	定期考査						0	0		1
Н		•				•	•	1		合計

教科 国語 科目 文学国語 単位数: 2 単位 高等学校 令和7年度(3学年用)

教 科: 教科 国語

科 目: 文学国語

 5Q
 付: 取付 国語
 科目:

 対象学年組:第 3 学年
 教科担当者: 比企 一哲

 使用教科書: 新編 文学国語(大修館書店)
 教科 国語

の目標

の目標:

科目 文学国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		言葉への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通じて他者や 社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・	領域書	跡	評価規準	知	思	態	配当時数
	1 明日をひらく ・遠くを見上げて 「少なくとも最後まで歩かなかった」 「そとみとなかみ」	・筆者の考えを読み取り、「現代の国語」 の学習に対する意欲を持たせる。 ・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き 方について考えを深める。			0	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 [(1) 「思考・判断・表現】 ・「認むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の 仕方などを的線に捉えている。 [B(1)ア] 「生体的に学習に取り即む機関】 ・業者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとして いる。	0	0	0	6
	1 明日をひらく ・言葉でスケッチ	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。		0		【知識・技能】 ・音楽には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 [(1) 「「思外・判断・表現] ・「春くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現して、表現して、表現しては、とを明確にしている。 [A(1)ア] 「主体的に学習に取り細む趣度」 ・読み手の共感が得られるような音葉や表現を工夫して書こうとしている。	0	0	0	5
	定期考査						0	0		1
1 学期	2 小説を楽しむ 「ナイン」 「晴れた空の下で」	・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら誰む。			0	「知識・北美型」、 ・情楽の豊かとや心情の機能を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通 して、経路を磨か器を生きかにしている。 [(1) イ] 「提考・判断・表現と豊かにしている。 [(1) イ] ・「読むこと」において、語り手の規志や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解している。 [B (1) イ 王生的に学習に取り組む態度] ・文学作品の研究のより発展という。 「最初のような発化である。」 ・文学作品の研究のようとしている。		0	0	7
	古典の世界1 「星取り」 「児の館食ひたること」	・話のおもしろさをとらえる。			0	【知識・技能】 ・文学的な文学を読むことを通して、我が国の音話文化の特質について理解を 深めている。 (20 77] 【思考・判断・表現】・、「都かこと、「大学の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の 仕かなどを的態に提入している。 (20 10 77) ・ 実施を扱う、大学につかる。(20 10 77) ・ 実施を扱う、大学につかる。(20 10 77) ・ 実施を扱う、大学につかるの展開を的際に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学者を調整しようとしている。	0	0	0	8
	定期考査						0	0		1
	3 詩を味わう 「道程」 「小張異情」 「小張み朝」 「コスモス」	 ・ 詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・ 詩のさまざまな表現と、その効果について考える。 			0	【知識・技能】 ・文学的な文学やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 [(1) 97] 【思考・判断・表現] 『聴た』と、において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 [B(1) エ] 【主体的に学習に取り細土機及】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わあうとしている。		0	0	8
2 学期	4 名作を読む 「山月記」	 登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。 			0	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を 据かている。 (2077] 【思考・判断・表現】 ・「誰たこと」において、他の中品と比較するなどして、文体の特徴や効果に のいた可能している。[31.07] ・「作品に実体として、文体の特徴や効果に 「作品に実体ともち、小説の文体やを借入物の心情について理解を図めようと している。	0	0	0	7
	定期考査						0	0		1
	古典の世界2 「かぐや姫の昇天」 「月やあらぬ」	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。			0	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を 原かている。〔四77] 【思考・判断・表現】 ・「整かこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の 仕方などを的報に提えている。[8(1)ア] 【主体的に学習法の単語と関、 ・作品に興味をもち、更編人物の心情を読み取ろうとしている。		0	0	7
	5 社会に生きる 「神主なあなあ日常」 「鞄」	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。			0	【知識・技能】 ・人間、社会 自然などに対するものの見方、感じ力、考え方を豊かにする酸 書の意義と適別について理解を限めている。 [(2) イ] [思考・判断・表現] ・「認たこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、財産を解散している。 [810 イ] 「生命的に学習は取り組む場別・作品の特徴ある表現に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。	, o	0	0	6
	定期考査						0	0		1
	6 表現を味わう 「身内はど厄介なものはない」 「柿」	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工 夫を読み取る。	0			「知識、技能】 ・音楽には、影像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 [(1) ア] [思考・判断・表現] ・「誰かこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の がかなどを停止決ている。 [3(1))で他戦や避まえ、人間、社会、自然など に対するものの見方、感じ方、考え方を認めている。 [B(1)カ] 「生体的に学習に取り細じ機関、 ・選んで本文の内容を解散し、自分とは異なる文化をもつ人とコミュニケー ションをとされたちり、どのような配慮が表明の表えりとしている。	. 0	0	0	5
3 学期	6 表現を味わう ・思いを言葉に ①エッセイを書こう ②手紙を書こう	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを 表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表 現を工夫して書く。		0		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めてい (思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の間心が得られるよう、文章の構成や展開を 工夫している。 【A(1) イ】 【主的海に学習に取り細む態度】 ・「書くこと」にないて、他手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうと している。	0	0	0	6
	古典の世界3 「はしたなきもの」	・作品に表れている作者の感性をとらえ る。			0	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の音話文化の特質について理解を 添かている。 (20 77] 【思考・判断・表現】・ ・「認むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の 仕方などを的報に提えている。 [8(1) 77] 【生物学に学習なり報告を開発している。 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を提えようとしている。	,	0	0	8
	定期考査						0	0		1
H		I	ı				_	1		合計
Ш										78

 高等学校 令和7年度 (4学年用)
 教科 国語
 科目 文学国語

 教 科:
 教科 国語
 科目:
 文学国語

 教 科:
 第2年組:
 第3 単位

教科担当者: 比企 一哲

使用教科書: 新編 文学国語(大修館書店)

使用取付者: 新編 メチ国的 (ヘアドルロア)

教科 教科 国語 の目標:
【 知 歳 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深め言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標:

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話.	領域書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
	1 心を見つめる 「飛ぶことを知っている魂」	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を 深める。	8		0	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、背景や他の作品などとの関係を確まえ、作品の頻解を深めている。 【主体的に学習に取り組む施覧・ ・詩報を流むことに興味をもち、それらの状況で表現の特徴を踏まえながらそれそれの作品に振かれている情報やでは、	0	0	0	10
	2 小説を楽しむ口 「待合室」	・登場人物の視点や表現の特色に注目し、 その働きを意識しながら読む。 ・登場人物の考え方をとらえ、自分の考え と比較しながら自分の考えを広げる。		0		1 知識、技能 ・情景の豊かささな情の機能を表す語句の徹を増し、文章の中で使うことを通 に、講修を得き画像を豊かにしている。 1 思・判断・表現したがして、語り手の根本や場面の設定の仕方、表現の特色につ で評価するとい道して、内事を解釈している。 1 主体的に学習に取り組む機関を 作品に興味をもち、受福人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み 取ろうとしている。	0	0	0	8
1 学期	定期考查 古典の世界4 「桐壺」	・登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、 読みを深める。				【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について照解を 限めている。 【思考・判断・表現】		0		1
	3 文化を感じる 「夏の月」	・筆者の考える夏の月の良さをとらえる。 ・引用された作品を読み、解釈を深める。			0	「酸たと」において、作品の内容や無限を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見か、感じた、考えが定場かている。 「主体的に学習に取り組た修実」 ・学習の見通しを持ち、作品を解釈する活動を通して、自然に対するものの見 力や感しが、考え方を深めることに向けて、格り強く取り組んでいる。	0	0	0	12
	4 短歌・俳句に親しむ 「短歌」 「俳句」	・形式や表現に注意して短歌を読み味わう。 ・形式や表現に注意して俳句を読み味わう。			0	【知識・技能】 ・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めてい ・ 思考・制能・決理】 ・ 「複サーと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の参解性について登している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 複数や俳句を終むことに興味をもち、その形式や表現に注意してそれぞれの作品を読み味わおうとしている。	0	0	0	10
	定期考査						0	0		1
	5 小説を味わう 「山椒魚」	・登場する生き物たちの性格や心理を読み取る。 ・話のおもしろさと、そこに込められた寓意を読み味わう。			0	【知識・技能】 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めてい 「思考・判断・表現】 ・「設たこと」において、文章の構成や展開、表現の仕力を踏まえ、解釈の多 様性について含葉している。 「生命的に学習に更い細し極度】 ・作品に興味をもち、語のおもしろさや、そこに込められた寓意を読み味わお うとしている。	0	0	0	12
2 学期	5 小説を味わう 「話さない」	・登場人物の描写から、場面ごとの心情の 変化を読み取る。 ・作品の状況設定を的確にとらえ、寓意性 を読み取る。			0	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を探めてい 5. 思考・判断・夫現】 ・「彼たこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の参 解性について参見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味とも、整傷人物の心情の変化を読み取ることを通して、この作 品の演奏性を読み取るうとしている。	0	0	0	10
	定期考査						0	0		1
	古典の世界5 「能登殿最朝」 「四面楚歌」	・能登殿の描かれ方をとらえ、読みを深める。 ・漢文の表現に着目し、項王の心情を読み取る。			0	知識、技能 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を 関めている。 [思考・判断・表現] ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描字の 仕方などを的鑑に捉えている。 「主命的に学習ない。」 「主命的に学習なり組む施度」 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。		0	0	11
	6 名作を読む口「こころ」	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・優れた表現に触れ、読み味わう。			0	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機能を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通 ・情景の豊かさや心情の機能を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通 に、語感を静音論彙を豊かにしている。 「題た」、日本が、「作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然など に対するものの見方、感じ方、考え方を認めている。 【主体的に学習に映画性を聴き、 ・作品に興味をもち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを 報めようとしている。	0	0	0	10
	定期考査						0	0		1
	7 文学を生み出す 「私たちの黄色」	・さまざまな小説を読み、構成や表現の工 夫を読み取る。	0			知識、	0	0	0	5
3 学期	物語を紡ぐ 「ショートショートを書こう」	・これまでに学んできたことを活用し、読 み手の助言もふまえて作品を仕上げる。			0	「知識・技能」 ・文学的な文献における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的 に理解している。 「思考・判断・表現」 ・伝えたいことで感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを 時味して、文学会体を整えたり、説み手からの助言などを踏まえて、自分の文 郷の特長や課題を投入滅したりしている。 【主体的に学習に取り組化態度】 ・作品を創作すると比例味をもち、構成・展開や表現を工夫しながら書くこ とに取り組もうとしている。	•			4
										î

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
手掛かりとなる概念や理論について理解するととも に、諸資料から、倫理的主体などとして活動するた めに必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめ	原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察 し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野	現代の諸謀闘を主体的に解決しようとする態度を養うとと もに、公共的な空間に生き国民土権を担う公民として、自 国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主 権を募重し、各国民が協力し合うことの大切さについての 自覚などを深める。

Ξ	II.		+				
L	単元の具体的な指導目標 青年期と社会参画	指導項目・内容 ・指導事項	評価規準 【知識・技能】	知	思	態	配当時数
	「加麗な技術器」 自ちのキャリア部成とともによりよい社会の 財成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 当事者として公共的な空間を作る存在である。 ことについて実験する。 【学びに向かう力、人間性等】 事事者意識をもち、人間性を獲得することを 目指す。	・ 相等争り ・ 数材 ・ 一人 1 台端末の活用 等	「知識・な能」 学習した知識について問題演習にて確認する。 [思考・判断・表現力] ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 [主体的に取り組む態度] ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	7
	要表・思想・伝統文化と社会 1 知識及び対象と思索するための中期かりとなる概念 を理論について実験する。 [思考力、判断力、表現力等] 人間としての任め力生きかを考え、まとめて 表現できる。 (学びに向かう力、人間性等] (学びに向かう力、人間性等) 対数の基礎をとつ意見の表明に対し、論理的 対話の基礎をくり上げる。	指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 「思考・判断・表現力」 ・問題の解決には何が必要なのかを自 葉で表現できる。 「主体的に取り組む態度」 ・問題演習や説明に主体的に取り組む ある。		0	0	0	6
1	定期考査		~	0	0		1
学期	社会の基本原理と憲法の授え方 【知識なり技能】 総合の基本的原理について理 総する。 【思考力、判断力、表現力等】 (根)と社会との配力において多面的・多角 的に奪起し、被型する二体制 自分とは高くとかの意見なども考慮して投業 に取組な姿勢を与に付ける。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 る。 判断・表現力】 問題の解決には何が必要なのかを自分の言 葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	7
	配合5と世 「知識及び技術】 毎数と平等、基飾の利益と社会の安定性が必 家であることを発すること。 【思考力、判断力、表現力等】 上たり特徴できる。 したり物質できる。人間性を引 資料に近れて、内容の考えを表明できるよう な学びに向かう力を育てる。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 「思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	6
	定期考査		ar o	0	0		1
	配たり、皮質的 加強度が対象制 ま述の下、個人が機能に参 19 1kい社会は、悪迷の下、個人が機能に参 10 1kの社会を理解する。 [思考力、判断力、表現力等] 主体として解決水められる主題を設定し、 議発をして支援すること。 提供に基づいて自身の人人間性等] 提供に基づいて自身の手である。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 「思考・判断・表現力】 問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	8
	国際政治の動向と平和の追求 【知度な対策制】 ク意を形成することを適し て最かれることを選出 「思考力、判断力、表現力等] 「思考力、判断力、表現力等] したり特徴したことを、議略ともので表現で 「学びに向かう力、人間性等] 資料に基づいて自身の考えを表明できる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○。 「知識・技能】・学習した知識について問題演習にて確認する。 ○。 「思考・判断・表現力」 問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 「主体的に取り組む態度】・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	7
2	定期考査			0	0		1
2 学期	期報経済のしくか 【知識技が技術・ステルを機能させていることを理 財物経路がステルを機能と対してもませった。 ままった。 計画が特殊に向けて事実を振に協権して考験したり得想したとを、顕微をもって美規で さる。 にい向から力、人間を知りませい。 は、日本のでは、日本のできるよう などがは、日本のできるよう。 などがは、日本のできるよう。 などがは、日本のできるよう。 などがは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのでは、日本のできるよう。 などのできる。 などのでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなでをなで	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	知識・技能] ・学習した知識について問題演習にて確認する。 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 「思考・判断・表現力] ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 「主体的に取り組む態度] ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	7
	類かなた会の実現 「知識技が技力。 指導部的と個人の等重を非に成り立たせることが必要なことと問題をする。 かが必要なことと問題をする。 主題の特別に向けて事実と基に協動して考験 したり帰想したことを 論義をもって実現で さる。 に向かう力 人間性を引 はこにかかったり、一部とかり などに向かう力と同できるよう な学びに向かう力を育てる。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認す ・學習した知識について問題演習にて確認す ・思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言 ・実と表現らにより組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでい る。	0	0	0	7
	定期考査			0	0		1
	国際経済の動向と格差の是正 【加重なり技能】経済活動を行うことを通して 金製度の第年的な配分が図られることを理解す も、「思考、判断力、表現力】 上題の解決に向けて事実と高に協働して考察 したり構想したことを、直線をもって表現で 2年以上向かり力、人間性等】 平和で定定した原動社会の形成へ主体的に参 両する態度を要う。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 ・男子習した知識について問題演習にて確認する。 「思考・判断・表現力] ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 「主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	6
3 学期	社会における護原圏の解決 【知識及付表態】 話資料から様々な情報を適切かつ効果的に調 べる技能を身に付ける。 【思考、判断、表現力引できるようにす 自分の意見を輸産的に要可できるようにす 《学化に向かう》、人間性等】 特別と協働して課題解決に取組む姿勢をも つ。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	知識・技能] ・学習した知識について問題演習にて確認する。 [思考・判断・表現力] ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 [主体的に取り組む態度] ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	6
	払会における諸原題の解決 【知識及び技術を適助への効果的に調べまとめる 技能を名作けるようにする。 【思考、判断力、表現の 力分の意見を無断に美妙でさるようにす 「ないに向かう力、人間性等】 中間と協動して課題解決に表現な姿勢をも つ。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 「思考・判断・表現力】 「思考・判断・表現力」 「思考・判断・表現力」 「世秀・判断・表現力」 「世秀・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	0	0	0	6
	定期考查			0	0		1 合計 78

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

 教 科: 地理歴史
 科 目: 地理総合
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 組~ 組

教科担当者: 工藤 和起

使用教科書: (高校生の地理総合(帝国書院)、基本地図帳(二宮書店)

教科 地理歴史 の目標:

の目標:

【知 識 及 び 技 能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野を課題に主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それにを其に議論したりする力を養う	地理や歴史に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に他対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切とについて自覚などを深める。

)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	地図や地理情報システムでとらえる現代 社会 【知識及び技能】 地図の読み方や時差、地図や地図情報シ ステム(GIS)を用いる基礎的な知識を身に つける。 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて地図やGISを用いる方法を自 分なりに考えられるようになる。	・教科書 ・地図帳 ・地球儀 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・地球儀と地図や、紙の地図とデータの地図のメリットとデメリットを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	6
	結び一きを深める現代世界 【知識及び技能】 地図情報システムや、そこから派生する技術の用いられ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 特定の課題について、地図情報システムの活用の方法を多面的・多角的に思 考できる。	教科書・地図帳・映像資料・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・状況に応じて最適な地図システム・地図の形式を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	8
1	定期考査			0	0		1
学期	生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基 に、その多様性や地理的要因を理解す る。 【思考力、判断力、表現力】 自他の文化を尊重し、国際理解をはか ることの重要性を説明できる。	・指導事項・教材・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・多様性の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	8
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 東アジアの経済発展と生活文化の変化について 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済発展と生活文化の変容の関連性を説明でき る。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 ・中国や朝鮮半島について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	4
	定期考査			0	0		1
2	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 東南アジアの生活における様々な地域との関り について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の交わりが文化に与える影響を説明できる ようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・東南アジアについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	4
学期	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 ヒンドゥー教の宗教圏について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教が文化に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教やそれにともなう生活文化の理解を通じ て、国々のことを理解し受容する態度を養う。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ヒンドゥー教の宗教圏について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域・宗教の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	4
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アジア・北アフリカの地域における宗教・気候・経済の関連性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教・気候・経済が与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・中央アジア、西アジア、北アフリカについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	4
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 中央アフリカ・南アフリカの様々な地域につい で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済などが地域に与える影響を説明できるよう にする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解する態度を養う。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・中央アフリカ、南アフリカについて、学習した知識 ・中央アフリカ、南アフリカについて、学習した知識 について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域・宗教の尊重が大切な理由を思考し、自分 の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	4
	定期考査			0	0		1

	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 ヨーロッパの地域や文化について理解す	指導事項教材	【知識・技能】 ・ヨーロッパについて、学習した知識について問題演習にて確認する。				
	る。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教が文化に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養	・一人 1 台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ・国や地域・文化の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	3
	る 多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 ヨーロッパ北部・ロシアにおける様々な地域に ついて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気候が文化に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ロシアを中心とする地域について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	3
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ合衆国における様々な産業や、社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産素が文化に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	・指導事項・数材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ合衆国について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	3
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 ラテンアメリカやオセアニアにおける 様なな地域や文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な文化が人々の生活に与える影響を 設明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解する態度を養う。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ラテンアメリカやオセアニアについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域・文化の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	3
	定期考査			0	0		1
	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地でみられる問題について、必要な知識 を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地で生じている問題に対し、主題を設定 し、できることを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な問題から世界に目を向ける姿勢をもって 学習に取り組むこと	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現で表現では中が必要なのかを自分の言葉で表現で表現で表現では中が必要なのかを自分の言葉で表現で表現では、一個地域では、一個地域では、一個地域では、一個地域では、一個地域である。	0	0	0	5
	自然災害と防災① 【知識及び技能】 自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえ た地理的知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害は世界のどの地域で頻発しているか などを情報処理をもとに説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界で発生する災害に対して、自分にで きることを考える。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	5
3 学期	自然災害と防災② 【知識及び技能】 災害に備えた各種の地理情報を読み取り、まと めるための知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力】 自分の地域ではどのような災害に備える必要が あるかを考え、表現できる。 【学びに向かう力・人間性】 災害時に自分には何ができるかを考えている。	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地域の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	5
	生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題の解決に向けた手法について理解 する。 【思考力、判断力、表現力】 主題を設定し、課題解於に求められる取組など を想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的かつ地域の未来を考えながら取 り組んでいる。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識・技能】 ・地域の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	4
	定期考査			0	0		1 合計
							78

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科: 地理歴史 科 目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 組

教科担当者: (1組:工藤 (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (新選 歴史総合(東京書籍)

教科 地理歴史 の目標:

【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野を課題に主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の 形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	どを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在との つながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい 社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようと する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察によ り、文化を尊重することの大切さについての自覚などを 深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	請びつく世界と日本の開国(1) 【知識及び技能】 諸資料を活用する技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の生活や社会が変化したことを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に臨む。	・中学校段階の歴史学習の振り返りを適宜行いながら進める。 ・教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・18世紀の東アジアと世界各地のつながりについて、国同土の貿易関係をもとに説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	7
	結びつく世界と日本の開国(2) 「知識及び技能】 諸資料を活用して情報を読み取る技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の生活や社会が変化したことを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	教科書一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・イギリスで始まった産業革命が、資本主義の進展や世界各地に与えた影響を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
1	定期考査			0	0		1
与其		・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】・様々な革命によって、社会や国家が変容した結果が、人々の生活に与えた影響を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	7
	国民国家と明治維新(2) 【知識及び技能】 「根職及び技能】 「思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容など を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・帝国主義にもとづき列強各国が勢力拡大をねらった結果を、アジア諸国で発生した事態をつうじて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1

	国際秩序の変化や大衆化への問い(1) 【知識及び技能】 国際関係の緊密化を読み取ったりまとめる。 【思考力、判断力、表現力】	・指導事項・教材・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。				
	生活や社会の変容について考察し、自分の疑問 や問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。		【思考・判断・表現】 ・二大強国の出現によって発生した国際情勢の変 化を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
	国際秩序の変化や大衆化への問い(2) 【知識及び技能】 取治的・経済的・社会的地位の変化などの資料 を読み取ったりまとめる。 【思考力、判断力、表現力】 国際秩序の変化について考察し、自分の疑問や 間を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・植民地支配や大衆といった新しい概念について、論理的に考え、言葉や文章で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
2 学期	臨む。	 ・指導事項 ・数材 ・一人 1 台端末の活用 	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・第一次大戦後の日本や東アジア地域などで生じた変化について論理的に考え、言葉や文章で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	経済危機と第二次世界大戦(1) 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策 などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角 的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・各国で恐慌への対応に違いがあったことと、国際秩序への影響の関係を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	5
	経済危機と第二次世界大戦(2) 【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の国際社 会への復帰を理解すること。 【思考力、判断力】 人々の生活と国際情勢との関係などを多面的・ 多角的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・第二次世界大戦が日本の政治・社会・人々の生活へ与えた影響を様々な面から説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	5
	定期考査			0	0		1
	冷戦と世界経済(1) 【知識及び技能】 脱植民地化を目指す運動が密接に結び付きアジ アに新たな国家等が形成されたことなどを理解 する。 【思考力、判断力、表現力】 大戦の複合的な性格を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・冷戦構造の形成の中で国際関係にはどのような変化が起こったか説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	7
学	冷戦と世界経済(2) 【知識及び技能】 アジアに新たな国家等が形成されたことを理解 する。 【思考力、判断力、表現力】 民主化に向けたアジアの動向の多様性を表現で さる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・脱植民地化を達成した国家と民主化について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
期	世界秩序の変容と日本 【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化 や歴史を理解すること。 【思考为】判断力、表現力】 日本とその他の国や地域の動向を比較、相互に 関連付けたり考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自治的な態度で課題の設定から解決に 臨む。	・指導事項・教材・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・様々なテーマに対して、問題の原因・結果・影響を論理的にまとめて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	0	0	0	6
	定期考查			0	0		1 合計
	Ĭ	İ	1	l			78

 高等学校 令和7年度 (4 学年用) 教科 公民
 科目 政治・経済
 科目 政治・経済
 単位数: 3 単位

教 科: 公民 科 目: 政治·経済

対象学年組:第 4 学年 1 組~ 組

教科担当者: (1組:工藤) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (政治・経済(東京書籍)

教科 公民 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 政治・経済

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛か りとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料を もとに社会の主体として活動するために必要となる情報を 適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにす る。	角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を 視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	現代日本の政治 【知識及け技能】 日本の政治機構について基礎基本的な知識を習 得する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義の必要性を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような 学びに向かう力を育てる。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
学	現代日本の経済 【知識及で技能】 経済活動の基本的な仕組みについて基礎基本的 た知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済と実生活はどのように関わっているのかを 説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に読むことができる。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	13
	現代日本の経済の課題 【知識及び技能】 日本で発生している社会問題の原因と対策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の発達と問題点などを自分の言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と合わせて捉えて、主体的に学習する。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
	現代の国際政治 【知識及び技能】 国際政治の基礎基本的な知識や、国際法の基本 理念を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 現代の国際政治が目指していることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような 学びに向かう力を育てる。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	21
2 学	定期考査			0	0		1
ガ	現代の国際政治と日本 【知識及び技能】 国際社会での日本の役割を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 日本が国際社会で果たす役割について説明する ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような 学びに向かう力を育てる。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	22
	定期考査			0	0		1
	国民経済と国際経済 【知識及び技能】 [別義通じて他国の人々と共生するために必要 な知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】 新聞かなどから質易関係のニュースを取り出し て、内容を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような 学びに向かう力を育てる。	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	18
3 学期		 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	11
	定期考査			0	0		1
							合計

 高等学校
 令和7年度(1学年用)
 教科
 数学
 科

 科 目:
 数学 I
 単位数:
 2
 単位
 科目 数学 [

教 科: 数学

 教 科: 数学
 科 目:

 対象学年組:第
 1 学年
 1 組

 教科担当者:
 松本 悠希

 使用教科書:
 (数研出版 新 高校の数学 I)

数と式、2次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを理解できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】 [知識及び技能] 数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則 を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数 学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
	計算の優先順位を理解し、その優先順位の通りに数 の計算、分数の計算ができるようになる。	第1章 数と式 計算の基本	【知】四則が混じった計算の優先順位に従って計算できる。 【態】数の計算方法や単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、積極的に習得しようとする。	0		0	3
	単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語 を理解し、式の整理をすることができるようにな る。ある数量について、 ことができるようになる。 ことができるようになる。	第1章 数と式 単項式と多項式	【知】単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解し、式の整理をすることができる。 【思】ある数量について、文字を使った式で表現することができる。	0	0		5
1 学期	指数法則や分配法則を理解し、乗法の計算、式の展 開ができるようになる。	第1章 数と式 展開	【知】指数法則や分配法則を理解し、乗法の計算ができる。 【思】式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 【態】多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心をもち、考察しようとする。	0	0	0	6
791	共通因数をみつけ、共通因数のくくり出しができる。因数分解の公式を利用することができるようになる。因数分解の徐算に展開を利用できることを理解する。	第1章 数と式 因数分解	【知】因数分解の公式を利用することができる。 【思】たすき掛けの仕組みを理解している。 【態】因数分解の検算に展開を利用しようとする。	0	0	0	6
	平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法、減法、乗法、分母の有利化の計算ができるようになる。 る。 有理数・無理数の定義や実数の分類について理解する。	第1章 数と式 実数	【知】平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法、減法、 乗法、分母の有利化の計算ができる。実数について理解して いる。 【態】実数を数直線上の点の座標として考察し、今までに学 習してきた数の体系について整理しようとする。	0		0	6
	考査前演習			0	0		1
		定期考査		0	0		1
	不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができるようになる。	第1章 数と式 1次不等式	【知】不等号の意味、不等式が値の範囲を表すこと、不等式の性質を理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【態】1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	0		0	8
	関数について理解し、関数を表、式、グラフによって考察することができる。	第2章 2次関数 関数	【思】2つの数量の関係を関数の式で表現することができ、 関数を表、式、グラフによって考察することができる。 【態】日常の事象の中に関数を見つけようとする。		0	0	4
2	考查前演習			0	0		1
学期		定期考査		0	0		1
	関数について理解し、関数を表、式、グラフによって考察することができる。	第2章 2次関数 関数	【思】2つの数量の関係を関数の式で表現することができ、 関数を表、式、グラフによって考察することができる。 【態】日常の事象の中に関数を見つけようとする。		0	0	4
	放物線の形や軸、頂点について理解する。2次関数のグラフをかくことができるようになる。	第2章 2次関数 2次関数のグラフ(1)	【知】放物線の形や軸、頂点について理解し、グラフをかくことができる。 【思】 2 次関数のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行 移動の組み合わせとみて考察することができる。 【態】放物線のもつ性質に興味・関心をもつ。	0	0	0	10
	考查前演習			0	0		1
		定期考査		0	0		1
	放物線の形や軸、頂点について理解している。 2次関数のグラフをかくことができる。	第2章 2次関数 2次関数のグラフ (2)	【知】放物線の形や軸、頂点について理解している。2次関数のグラフをかくことができる。 【思】2次関数のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【態】放物線のもつ性質に興味・関心をもつ。	0	0	0	6
3 *	2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し、 2次関数の最大値、最小値を求めることができるよう になる。		【知】ax^2+bx+cをa(x-p)^2+qの形に変形でき、y=ax^2+bx+c のグラフをかき、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 【態】2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて視覚的に考察しようとする。	0		0	7
学期	2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができるようになる。	第2章 2次関数 グラフと2次不等式	【知】2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 【思】2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、 2次方程式と関連させて考察することができる。 【態】2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。	0	0	0	6
		定期考査		0	0	0	1 合計 78

高等学校 令和7年度 (2 学年用) 教科 数学 科目 数学 I 数学 I 単位数: 2 単位 2 単位

教 科: 数学 対象学年組:第 2 学年 1 組 教科担当者: 松本 悠希 使用教科書: (数研出版 新 高校の数学 I) 科目 数学 I の目標: 図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培 い、数学のよさを理解できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化した	会題の条件や結論に着目し、図形の構成要素間の関係に着目し、 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事 象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の 関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解 決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 を養う。	考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決 の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしよ うとする態度や創造性の基礎を養う。

_		を養う。					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三 角比の相互関係などを理解できるようにする。	第3章 図形と計量 直角三角形	【知】 直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。	0			3
	また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	第3章 図形と計量 三角比	[知] 三角比は、箇角三角形の辺の比であることを理解している。直角三角形において、正弦、弦弦、正接を実めることができる三角比の表を利用して、三角比の値や角を調べることができる。 [限] 三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを、三角形の相似から考察することができる。	0	0		5
1		第3章 図形と計量 三角比の利用	(転) 三角比を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。三角比を利用して、直角三角形の角のおよその大きさを求めることができる。 (思) 測量の問題に三角比を活用することができる。 (態) 直接測ることのできない距離を求めることに関心をもつ。	0	0	0	5
学期	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三	定期考査 第3章 図形と計量	【知】sinA=cos(90° −A) などの公式を利用することができる。三角比の相互関係	0	0		1
	角比の相互関係などを理解できるようにする。 また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとら え、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	三角比の相互関係	を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思】sin2 A+cos2 A=1を三平方の定理としてとらえることができる。 【態】三角比の相互関係を調べようとする。	0	0	0	7
		第3章 図形と計量 鈍角の三角比	【知】鈍角の三角比の値を求めることができる。sinθ=sin(180° − θ)などの公式 を利用することができる。鈍角の場合についても、三角比の相互関係を利用して、 三角比の1つ価値から残りの2つの値を求めることができる。 【思】拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 【態】拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 【態】数角の三角比が座標を利用して定義される理由に関心 をもち、考察しようとする。	0	0	0	5
	考查前演習			0	0		1
		定期考査		0	0		1
	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを教 学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	第3章 図形と計量 正弦定理	【知】正弦定理におけるメーローCの形の式を適切に処理することができる。正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接門の半径を求めることができる。 【思】三角形の頂点から対似に下るした整めの長さを、三角比を用いて表現し、正弦定理を導くことができる。測量の問題に正弦定理を活用することができる。 【態】正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	0		0	6
		第3章 図形と計量 余弦定理	【知】条弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思】三角形の各辺を1辺とする正方形の面積を、三角比を用いて表現し、余弦定理 を導くことができる。 測量の問題に余弦定理を活用することができる。空間図形から適当な三角形を取り 出していまる。とができる。 【態】余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	0	0	0	6
		第3章 図形と計量 三角形の面積 定期考査	【知】2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 【態】三角比と三角形の面積の関係に関心をもち、公式を導こうとする。		0	0	2
	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事	第4章 集合と命題	【知】集合を、要素を書き並べて表すことができる。共通部分、和集合、空集合に	0	0		1
2 学期	象の考察に活用できるようにする。	集合	ついて理解している。2つの集合の包含関係を判定することができる。全体集合、補 第一日のでは、1000年では、1000年では、1000年できる。全体集合、補 1000年では、1000年できる。本ン図などを用いて、集 合を視覚的に表現して考察することができる。 1000年である。 1000年である。1000年できる。	0	0	0	5
		第4章 集合と命題 命題と集合	【知」命題の意味を理解している。集合の包含関係や反例を調べるなどして、命題 の真偽を判定することができる。否定の意味及び否定を表す記号を開解している。 (思) 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察する ことができる。命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解 できている。 (態) 条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着 目し、命題について調べようとする態度がある。	0	0	0	4
		第4章 集合と命題 必要条件と十分条件	【知】十分条件、必要条件及び必要十分条件の意味を理解している。逆、対偶の意味を理解し、命題の逆、対偶を作ることができる。真である命題の逆は、真であるとは限らないことを理解している。対偶の真偽はもとの命題の真偽と一致することを理察している。 【思】対偶の利用や育理法の利用を適切に判断して、命題を証明することができる。 【思】 対偶の対用や育理法の利用を適切に判断して、命題を証明することができる。	0	0	0	4
	考査前演習			0	0		1
		定期考査		0	0		1
	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察 する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、 適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行 い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する 力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥	第5章 データの分析 データの整理	【知】階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。データを度数分布表やヒストグラムに表すことのよさを理解している。 【態】データを整理して全体の傾向を考察しようとする。	0		0	3
	が、小幅表は事務の起こりやりでに指言し、主張の女当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	第5章 データの分析 データの代表値	[41] 最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 【想】どの代表値を用いるのが適切なのかが場面によって変わってくることを理解している。 【8】データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	0	0	0	4
		第5章 データの分析 データの散らばり	【知】四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。四分位範囲、四分位偏差の定義や存息味を理解し、それらを求めることができる。箱ひげ図をかくことができる。名前の上ので理解している。分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。「思】四分位期中箱ひげ図をもとに、中域の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。	0	0	0	4
		第5章 データの分析 データの相関	(知) 散布図を作成することができる。相関係数の定義とその意味を理解し、相関係数を計算することができる。相関係数と散布図の関連を理解している。 (思) 散布図をもとに、データの相関を考察することができる。相関係数の数値からデータの相関を考察することができる。 (18) 相関係数と散布図の関連に関心をもち、考察しようとする。	0	0	0	4
3 学 期		第5章 データの分析 仮説検定の考え方	【知】 仮説検定の考え方を理解している。 【思】 仮説検定の考え方を用いて、ある事柄が正しいかどうかを判断することができる。 【態】 身近な事柄において、 仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	0	0	0	3
	考査前演習			0	0		1
		定期考査		Ľ	Ĺ	_	1
				0	0		合計 78

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学

科目 数学Ⅱ 【学 科 単位数: 2 単位

教 科: 数学

対象学年組:第 3 学年

教科担当者: 松本 悠希 使用教科書: (数研出版 新 高校の数学Ⅱ)

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と 技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度 を育てる。 科目 数学Ⅱ の目標:

数学Ⅱ

【思考力、判断力、表現力等】 【知識及び技能】 | は3年7月、刊財力、表現刀争| 【学びに向かう力、人間性等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどに ついて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間 の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現し たり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目 し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の 局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善した りしようとする態度や創造性の基礎を養う。 程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数 三角 関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化した り、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする 技能を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理 解できるようにする。	第1章 式の計算 式の展開と因数分解	【知】展開の公式と因数分解の公式を利用できる。	0			3
		第1章 式の計算 分数式の計算	【知】分数式の約分、乗法・除法、加法・減法の計算ができる。 【思】分数式の計算について、分数の計算と同じように考察することができる。	0	0		6
	考査前演習						3
1 *	製の笠田ナ塩本製土では選上7辛業ナ田の1.塩本製	定期考査 第1章 式の計算	【知】負の数の平方根を理解し、 iを用いて処理することができる。複素数の加法、減	0	0		1
朗	数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数 の計算ができるようにする。また、複素数を用いて 2次方程式やその解についてより一般的に考察できる ようにする。	第「早 式の計算 複素数	[知] 其の奴の平力根を埋除し、1を用いて処理することができる。模案奴の加法、滅法、乗法の計算ができる。[惠] 横索教の表記を理解し、模素数a+0iを実数aと同一視できる。[態] 数の範囲を実数から複素数へ拡張することについて、有理数から実数に拡張したことと関連させ、考察しようとする。	0	0	0	4
		第1章 式の計算 多項式のわり算	[知] 多項式の割り算の計算方法を理解し、計算することができる。 [思] 多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。	0	0		5
		第1章 式の計算 等式の証明	【知】与えられた条件式を用いて文字を消去し、等式を証明することができる。 【思】与えられた条件式の適切な利用方法を考えて、等式を証明することができる。 【態】数学における証明の意義を理解し、等式の証明に意欲的に取り組もうとする。				4
	考査前演習						1
		定期考査		0	0		1
	機や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現 し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活 用できるようにする。	第2章 図形と方程式 直線上の点	【知】 教庫線上において、2点間の距離を求めることができる。線分の内分点、外分点の意味を理解し、数直線上に内分点、外分点の位置を表すことができる。数直線上において、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 【思】線分の外分点の公式を、内分点と統一して捉えようとする。	0	0		3
		第2章 図形と方程式 平面上の点	[知] 座標平面上において、2点間の距離の公式を理解し、距離が求められる。座標平面上において、総分の内分点、外分点の座標を求めることができる。三角形の重心の 座標の公式を理解し、重心の座標を求めることができる。三角形の重心の [思] 三角形の重心の座標の公式を導く際に、重心の性質を適切に利用できる。 [態] 数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の場合を考察しようとする。	0	0	0	4
	標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現 し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活 用できるようにする。		【知】x、yの1次方程式が表す直線をかくことができる。通る1点と傾きがわかっている直線の方程式を求めることができる。通る2点がわかっている直線の方程式を求めることができる。 【思】通る2点がわかっている直線の方程式を、通る1点と傾きがわかっている直線の方程式を利用して考察できる。	0	0		4
2 学期		第2章 図形と方程式 2直線の関係	[知] 2直線の交点の座標を、連立方程式を解いて求めることができる。2直線の平行条件を理解していて、それを利用できる。2直線の垂直条件を理解していて、それを利用できる。 【態】2直線の平行・垂直の関係を、傾きに注目して考察しようとする。	0		0	4
		定期考査		0	0		1
	座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現 し、それらの有用性を認識する。また、図形を、与え られた条件を満たす点の集合として認識するととも に、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表 すことを理解し、事象の考察に活用できるようにす る。	第2章 図形と方程式 円の方程式	【知】中心の座標と半径から円の方程式を求めることができる。また、円の方程式から中心の座標と半径を求め、円をかくことができる。直径の両端の座標から【思】円の方程式を求めることができる。x、yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 円上の点と中心との距離が一定であることに着目し、円の方程式について考察することができる。 【態】x、yの2次方程式が表す図形に興味・関心をもつ。	0		0	7
		第2章 図形と方程式 不等式と領域	【知】直線を境界線とする領域を図示することができる。円を境界線とする領域を図示することができる。連立不等式の表す領域を図示することができる。 【思】不等式を満たすx、yの組を、座標平面上の点の集合としてみることができる。	0	0		6
		定期考査		0	0		1
	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する 様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察 できるようにする。	第3章 三角関数 一般角	(知) 一般角を表す動径を図示したり、動径の表す角をα+360°×nと表したりすることができる。 [思] 一般角を動径とともに考察することができる。	0	0		4
		第3章 三角関数 三角関数、三角関数の相互関係 三角関数の性質	【知】三角関数の相互関係を理解し、それを利用して、1つの値から残りの2つの値を 求めることができる。 【記】三角関数の性質を、単位円周上の点の座標によって考察することができる。 【窓】三角製数の性質を利用すれば、どんな角でも三角関数表を利用して値を求めら れることに関心をもち、いろいろな値を調べようとする。	0	0	0	5
		第3章 三角関数 三角関数のグラフ	【知】y=sinθ, y=cosθ, y=tanθの周期とグラフの形の関係に注意して、正しいグラフがかける。 【思】単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。	0	0		4
3 学明		第3章 三角関数 加法定理, いろいろな公式	【知】加法定理、2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 【思】45°+30°の具体的な値で加法定理の式が成り立つことを、図形的に考察することができる。 ことができる。 【態】加法定理から、2倍角の公式を導こうとする。	0	0	0	4
		第3章 三角関数 弧度法	【知】弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。扇形の弧の長さと面積の公式を理解している。 【思】弧度法を、弧の長さで角を測る方法として理解し、考察することができる。 【態】新しい角の測り方である弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。	0	0	0	1
	考査前演習			0	0		1
					-	\vdash	-
		定期考査					1 合計

高等学校 令和7年度(4学年用) 教科 数学

科目 数学Ⅱ

 学
 科

 単位数:
 2
 単位
 教 科: 数学

1 組

 教 科: 数字

 対象学年組: 第
 4 学年
 1
 組

 教科担当者:
 松本 悠希

 使用教科書:
 (数研出版 新 高校の数学 II)

 科目
 数学 II
 の目標:

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

	心及と目でも。	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念*原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学(について論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題 解決の過程を振り返って考察を突めたり、評価・改善した りしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
	指数を実数まで拡張する意義を理解し、指数関数を事 象の考察に活用できるようにする。	第4章 指数関数・対数関数 指数の拡張(1)	【知】指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算 をすることができる。 【思】指数が20や負の整数の場合も正の整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを 理解している。 【態】指数の範囲を正の整数から0や負の整数に拡張する過程に関心をもち、どのよう に定義すればよいかを調べようとする。	0			4
		第4章 指数関数・対数関数 累乗根	【知】累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。	0	0		2
		第4章 指数関数・対数関数 指数の拡張(2)	【知】累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。				
1 学		III 300 V III III (E)	[思] 指数が有理数の場合も整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを理解している。	0	0		4
期			「態」指数の範囲を整数から有理数に拡張する過程に関心をもち、どのように定義すればよいかを調べようとする。				
	比乳ナウ乳・ナイルボーフ・ギャナ田の」・比製田乳・ナ市	定期考查	Fan 七字 BB 字 の ローコ の の	0	0		1
	指数を実数まで拡張する意義を理解し、指数関数を事 象の考察に活用できるようにする。	第4章 指数関数・対数関数 指数関数のグラフ	【知】指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。指数関数を含む方程式を解くことができる。 【思】指数関数の増減によって、数の大小関係を判定することができる。 【態】指数関数のグラフの概形を、点をブロットしてかこうとする意欲がある。	0	0	0	3
	対数の定義とその性質を理解し、対数関数や常用対数 を事象の考察に活用できるようにする。	第4章 指数関数・対数関数 対数	【知】指数と対数とを相互に書き換え、値を求めることができる。 【思】対数 logalhがM=apを満たす指数pを表していることを理解している。 【態】指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。	0	0		3
		第4章 指数関数・対数関数 対数の性質	【知】対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算ができる。 【思】指数法則を利用して、対数の性質を考察することができる。				3
		第4章 指数関数・対数関数 対数関数のグラフ	【知】対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。対数の定義に基づいて、対数関数を含む方程式を解くことができる。 【思】対数関数の増減によって、数の大小関係を判定することができる。 【態】対数関数のグラフの概形を、点をブロットしてかこうとする意欲がある。				3
		第4章 指数関数・対数関数 常用対数	【知】常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 【態】指数や対数を使えば、紙を40回折ったときの理論上の厚さが求められることに関心をもち、考察しようとする。				3
	考査前演習	定期考査					1
				0	0		1
	微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	第5章 微分法と積分法 微分係数	【知】微分係数の定義を理解し、それを求めることができる。 【思】関数の極限値を直感的に理解し、それを求めることができる。	0	0		2
		第5章 微分法と積分法 導関数	【知】導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 【思】導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使って表現することができる。	0	0	0	4
		第5章 微分法と積分法 接線	【知】公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 【思】グラフ上の2点を通る直線の極限が接線となることを理解し、微分係数の定義と 関連付けて捉えることができる。 【態】接線の傾きと微分係数との関係を図形的に考察しようとする。	0	0		2
		第5章 微分法と積分法 関数の増減	【知】導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 【思】関数の増減を接線の傾きから考察することができる。	0		0	2
		第5章 微分法と積分法 関数の極大値,極小値	[知] 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 【態】関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。	0		0	4
学		定期考査		0	0		1
期		第5章 微分法と積分法 関数の最大値, 最小値	【知】導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思】最大値・最小値と極大値・極小値との違いを、意識して考察できる。 【態】3次関数の最大・最小の問題を、図をかいて視覚的に考察しようとする。	0		0	4
		第5章 微分法と積分法 不定積分	【知】 不定積分の定義や性質を理解し、不定積分を計算することができる。【思】 微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。【態】 積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めたり、不定積分の性質が成り立つことを確かめたりしようとする。	0	0		4
		第5章 微分法と積分法 定積分	【知】定積分の定義や性質を理解し、定積分を計算することができる。 【思】定積分は定数であることを理解している。	0	0		4
		第5章 微分法と積分法 定積分と面積	【知】直線や放物線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 【思】面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察する ことができる。 【態】面積S(x)が関数f(x)の原始関数であることに興味・関心をもち、考察しようとす る。	0	0		2
L		定期考査		0	0		1
	総合演習						7
3 学		定期考査		0	0	-	1
期	自宅学習期間				9		12
							合計 78

理科 科目 科学と人間生活 ^{単位数: 2} 単位 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

科 目: 科学と人間生活

教 科: 理科 対象学年組:第 1 学年 教科担当者: (菊池 篤)

使用教科書: (実教科人702 科学と人間生活)

教科 理科 の目標:

> 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとする。 【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間 生活との関わりについての理解を深め、科学的 に探究するために必要な観察、実験などに関す る技能を身に付けるようにする。	科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1章 科学と技術の発展・科学技術の発展・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 【知識及び技能】・科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現できる。 【思考カ、判断力、表現力等」・科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わらて発展してきたか、意欲的に学習しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】	2. 海 3. 土 ・ 教材 教科書, ワーク, プリント 等	・科学技術はきまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解している。【知識・技能】・・現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。【思考・判断・表現】・科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わり合って発展してきたか、意欲的に学習しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】		0	0	7
	2章2節 食品と衣料 ・食品中の主な成分や衣料材料として用いられる代表的な物質に関連付けて理解する。【知識及び技能】・衣料と食品に関する観察。実験などを行い、力間生活と関連付けて理解する。【思生活と関連付けて発売する力、表現力等】・食品や衣類に関する事物・現象にも出いる。 ・変行い、外間性が表現のでは、現象に対して関連を表現に関する事物・現象に対した。 ・変を行い、人間性が表現のに深のでは、は、対したが、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	 2. 食品にかかわる物質 3. 衣料にかかわる物質 特集 衣料に新たな性質・機能を与える加工 教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人1 台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートに 	・食品中の主な成分や衣料材料として用いられる代表的な物質について、それぞれの性質を担握し理解している。またその成分や構造の違いから生きを見極めて日常生活に適切に利用できる。【知識・技能】・食品では一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	0	0	0	5
	定期考査			0	0		1
1 学期	2章2節 食品と衣料 ・食品と衣料 ・食品とな成分かな物質につい で用いられる代表的質を構造として用いられぞれ。【知らなる機造と機能】 ・衣料と食品に関すると観連付けて来解する。【関すると観連付けて考 ・を行い大る力を力を関連付思考 学的に探究力、表現力を等】 ・後とを行いまして考 が、判断力、表現力を等】 ・後に探究か、判断力、判断力、判断力、表現力を等】 ・進んで態度をでしまする。 とするも、 とするも、 とするも、 とするも、 とするも、 とずが、 として、 といて、 といて、 といて、 といて、 といて、 といて、 といて、 とい	 2. 食品にかかわる物質 3. 衣料にかかわる物質 特集 衣料に新たな性質・機能を与える加工 教材 教科書,ワーク,プリント 等 一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートに 	・食品中の主な成分や衣料材料として用いられる代表 的な物質について、それぞれの性質を把握し理解して違いる。またその成分や構造の違いから生ずる性質のと いを理解し、それぞれの性質の良さを見極めて日常生 活に適切に利用できる。【知識・技能】 ・食品中の成分を検出する実験・表繊維の燃焼,簡単 をな化学繊維の合成などの観察・実験を通して、その構 造や成分の違いに関して考察することができる。【思 考・判断・表現】 ・食品中の成分が生命体においてどのような役割を ・自由中の成分が生命体においてど給ら的に判断し、 現することができる。【思考・判断・表現】 ・身近な食品中の成分や、衣料材料の性質や用途を追 求し、生命の維持と快適な生活にこれらの食品や繊維 がどのように利用されているか関心を持ち、意欲的に 学習しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8

	解する【知識及び技能】 ・ヒトの生命現象にに関する観察, 実験などを行い,人間生活と関連付	 とトの生命活動と健康の維持 ヒトの生命現象とDNA 教材 教科書,ワーク,プリント等 一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートに 	・眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを理解している。【知識・技能】・すい臓から分泌されるホルモンの作用により血糖濃度が調節される仕組みを理解している。【知識・技能】・抗体による生体防御の概要を理解している。【知識・技能】・遺伝子の情報をもとにタンパク質がつくられること・タンパク質がヒトの生命現象に関与していること・理解している。【知識・技能】・直伝子の情報をもとにタンパク質がつくられること・理解している。【知識・技能】・直接をしている。【知識・対能】を表現している。【思考・判断・表現】・血糖濃度の調節について、グラフの読み取りを通してホルモンの働きを理解し、糖尿病と関連させて説明することができる。【思考・判断・表現】・以外を模式的に示した図から、DNAを構造の特徴を読み取り、表現することができる。【思考・判断・表現】・ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲明しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	・ヒトの生命現象にに関する観察, 実験などを行い、人間生活と関連 けて科学的に探究する力を養了。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの生命活動に関する的に探究 ・としている。 ・といる性別かり、者学とともに、 まうとする態度を養別心を高める。 【学びに向かう力、人間性等】	 とトの生命活動と健康の維持 とトの生命現象とDNA 教材 教科書,ワーク,プリント 等 一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。 	・眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に 伝えられて視覚が生じることを理解している。 【知識・技能】・・すい臓から分泌されるホルモンの作用により血糖濃度が調節される仕組みを理解している。 【知識・技能】・抗体による生体防御の概要を理解している。 【知識・技能】・遺伝子の情報をもとにタンパク質がつくられること・タンパク質がヒトの生命現象に関与していること・タンパク質がヒトの生命現象に関与していること・理解している。 【知識・技能】・直接で近点を検出する実験を通して、眼の構造を説明することができる。 【思考・判断・表現】・血糖濃度の調節について、グラつ配読み取りを通してホルモンの働きを理解し、糖尿病と関連させて説明することができる。 【思考・判断・表現】・別私を模式的に示した図から、DNAの構造の特徴を読み取り、表現することができる。 【思考・判断・表現】・ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲別」・ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	7
2 学	4章2節 光の性質とそ同用日と科学とその間生活を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	 電磁波の利用 教材 教科書,ワーク,プリント 等 一人1台端末の活用 	・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持っことから理解し、身の回りの現象として見出せる。 【知識及び技能】・電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波がぼ性活で利用されていることを理解できる。【知識及び技能】・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】・スペクトルなどによる電磁波の分類に関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。【思考力、判断力、表現力等】・自然界に見られる光の現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	5
期	4章2節 光の性質とその利用	・指導事項	・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持	0	0		1
	**・光の基本的な中では、 ・光の基本的な性質を大間をの 関わりについての理解を深観察, がなどに関するために必要身に付ける。 ・光に関する方数になりを行い、 ・光に関する方を関連付けを予し、 ・光に関する方を関連付けを予し、 ・光に関する方を関連付けを予し、 ・光に関する方を関連がで利学に が、表現関する事物・現象に進するので、 ・光に、科学したとする。 「大きなので、 をを養した。 ・というに、 が、大きなので、 が、大きない。 が、大きない。 は、いうには、 が、大きない。 は、いうには、 は、いうには、 が、大きない。 は、いうには、 は、いうには、 は、いうには、 が、は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	 光 電磁波の利用 教材 教科書,ワーク,プリント 等 一人1台端末の活用 	つことから理解し、身の回りの現象として見出せる。 【知識及び技能】 ・電磁波が設長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が目常生活で利用されていることを理解できる。【知識及び技能】 ・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】・スペクトルなどによる電磁波の分類に関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。【思考力、判断力、表現力等】・自然界に見られる光の現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	8

- 5章2節 身近な自然景観と自然災害・身近な自然景観、特に大島の景観 1. 身近な景観のなりたち・身近な自然景観、特に大島の景観 2. 地球内部のエネルギー2. 自然の恵みと自然災害解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する観察、実験などを行けるようにする。【知識及び技能】・身近な自然景観に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】・身近な自然景観や災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】

	定期考査			0	0		1
3 学期	5章 字節 身近な自然景観と自然景観と自然景観と自然景観と自然景観と自然景観と自然景観と自然景観と	1. 身近な景観のなりたち 2. 地球内部のエネルギー 3. 自然の恵みと自然災害 ・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人1 台端末の活用 実験結果をv調査結果をレポートに	・自然景観の恩恵を理解するとともに、身近 な地域に潜在する自技能学書のリスクを理解し ・自然災害のが見知識を通して総合。 ・自然災害の起きるのの方式になって、会合し、リストを選別ではなどのが表して、会のの方式とのが表して、会のしまれる。 したがあるである。 した、とがである。 ・身近な自然をある。 ・身近な自然を表現することができる。 ・身近な自然とがいたといて、会合し、別事的に分析ししが、表現のし、とれを表現するとがした。 ・身近な自然と判断し、それを表現力等したができるがしとができる。 ・身近な自然表観やし、判断力、表現別等を持ち、 ・身近な自然が表現し、等に関いに向から、 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にでは、 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にできない。 ・身にに向から、 ・りにのから、 ・りにのから、 ・りにのかった。 ・りがにのから、 ・りにのから、 ・りにのから、 ・りにのから、 ・りにのから、 ・りにのから、 ・りにのから、 ・りがにのから、 ・りにのから、 ・りにのも、 ・りにのは、 ・りにのは、 ・りにのは、 ・りにのは、 ・したのも、	0	0	0	8
	・実験操作や実験の内容を他者にわかりやすく伝える力を養う。【思考・判断・表現】 ・実施を他者と協力しながら積極的に行うことができる。【主体的に学習に取り組む態	めの企画・予備実験を行い、校内で実験教室を開催する。 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用	・安全性に配慮した実験を行うことができる。【知識・技能】・計画した実験について、背景知識を説明できる。【知識・技能】・他者が読んで理解しやすい、整理された実験試料を準備し説明できる。【思考・判断・表現】・他者と協力しながら積極的に準備・実施に取り組む態度】		0	0	11
	定期考査			0	0		1
							合計

理科 科目 化学基礎 ^{単位数: 3} ^{単位} 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科

科 目: 化学基礎

教 科: 理科 対象学年組:第 2 学年 教科担当者: (菊池 篤)

使用教科書: (東書化基702 新編化学基礎)

教科 理科 の目標:

> 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとする。 【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
離・精製、単体と化合物、熱運動と 物質の三態のことを理解するとと関す に、それらの記察・実験などに関び 能】・化学と物質について実験などに だし見通しをも今察・現力を が、科判の分離・精製、単体と化合 物、現象に主体的に関す料。 ・物・現象に主体的に制料 に探究しようと、人間関係等】	3.物質の三態・教材教科書,ワーク,プリント等・一人1台端末の活用	・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本機作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・社能とし、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質のとどを行い、科学のに署等し表現しているなど、科学、化学の教、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について、主体的に関する事物・現象について主体的に関すりの見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	14
定期考査			0	0		1

1 学期	2編1章 原子の構造と元素の周期表・物質の構成性子について、原子の構造と言うを言うとは、それらの観察、実験などに関すると技能を物質の構成な行といて、展祭・実験を適して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について表現力等。 【思考・原子の構造、電子配置と周期表についま現分等】・原子の構造、電子配置と周期表についま現外で、表現力等)・原子の構造、電子配置と周期表についまりとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	 電子配置と周期表 教材 	・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原 明本どを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本機作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】・原子の検査、電子配置と周期表について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考覧しているなど、科学的に探究している。【思考・判断・表現】・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返したりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	14
	2編2章 化学結合 ・物質と化学結合 ・物質と化学結合について、イオン金と地質と化学結合について、結合のとと共解するとは所述のとと表示を主義があるとして、表示を記して、表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	 ・教材 教科書,ワーク,プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートに 	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する。【知識・技能】・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に探究しているなど、科学的に探究している。【思考・判断・表現】・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属と金に探究している。【思考・判断・表現】・イオンとイオン結合、分子と共有結合、医具と金属と金属と金属となどを行い、科学的に探究している。【主体的に学習に取り組む態度】	0		0	12
	2編2章 化学結合	・指導事項	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオ ンとイオン結合、分子と共有結合、	0	0		1
		 分子と共有結合 金属と金属結合 教材 教科書,ワーク,プリント 等 一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。 	ンとイオン結合、分十と共有結合、金属と金属結合の 基本的な概念や原理・原則などを理解しているととも に、科学的に探究するために必要な実験などに関する 基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けてい る。【知識・技能】・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属 結合について、問題を見いだし見通しをもって実験な どを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的 に探究している。【思考・判断・表現】・ ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属 結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見 結合に関する事物・現象について主体的に関わり、現 語しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究 しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	11
	3編2章 酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、 酸・塩基と中和のことを理解するととも に、それらの観察・実験などに関する技能 を身に付ける。【知識及び技能】・ 化学反応について、観察・実験などを通 して探究し、酸・塩基と中和を見出して表 現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩去中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しよう人間性 等】	 ・教材書, ワーク, プリント 等 	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸・塩基と中和について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	0		0	10
	定期考査			0	0		1
期	3編2章 酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、 酸・塩基と中和のことを理解する技ととも に、それらの観察・実験などに関する技能 を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・中和を見出して表現。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しよう。十分的に保究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	 ・教材 教科書, ワーク, プリント 等 	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸・塩基と中和について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	11
	3編3章 酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】・酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとものを養う。【学びに向かう力、人間性等】	 酸化剤と還元剤 教材 教科書,ワーク,プリント 等 	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】・酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現・一酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	11

3	3編3章 酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを通して、 酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に 付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通 して探究し、酸化と還元を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元に関する事物・現象に主体的 に関わり、科学的に探究しようとする態度 を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・教材 教科書, ワーク, プリント 等	・化学反応についての実験などを通して、酸化と選元 の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとと もに、科学的に探究するために必要な実験などに関す る基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けてい る。【知識及び技能】・酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもっ て実験などを行い、科学的に考察し表現しているな ど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現 力等】・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもっ たり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとし ている。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	13
期	3編1章 物質量と化学反応式・物質量と化学反応式の実験などを通して、物質量、化学反応式のことをを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】・物質量と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、制質量、化判断力、表現十多。【思考力、判断力、表現一件等反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	 溶液の濃度 化学反応式 教材 教科書, ワーク, プリント 等 	・物質量と化学反応式についての実験などを通して、 物質量と化学反応式の基本的な概念や原理・原則など を理解しているとともに、科学的に探究するために必 要な実験などに関する基本機作や記録などの基本的な 技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・物質量、化学反応式について、問題を見いだし見通 しいるなど、科学的に探究している。【思考力、判断 力、表現力等】 ・質量、化学反応式について主体的に関わり、見通し をもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しよ ので、科学的に探究している。 「重通したので、大学的に探究している。」 ・質量、化学反応式について主体的に関わり、見通し をもったり振り返ったりするなど、科学的に探究 うとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
							合計
							117

年間授業計画

理科 科目 生物基礎 ^{単位数: 2} 単位 高等学校 令和7年度(3学年用)教科

教 科: 理科 科 目: 生物基礎

対象学年組:第 3 学年 教科担当者: (菊池 篤) 使用教科書: (東書生基702 新編 生物基礎)

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を 養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	様々な生物の比較に基づいて、生物 は多様でありながら共通性をもって いることを見いだして理解するこ と。また、生物の共通性と起源の共 有を関連付けて理解する。	1編 生物の特徴 生物の特徴	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様で ありながら共通性をもっていることを見いだ して理解すること。また、生物の共通性と起 源の共有を関連付けて理解できているか。	0	0	0	7
	生物とエネルギーに関する資料に基 づいて、生命活動にエネルギーが必 要であることを理解すること。ま た、光合成や呼吸などの代謝とAT Pを関連付けて理解する。	1編 生物の特徴 生物とエネルギー	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、 生命活動にエネルギーが必要であることを理 解できているか。。また、光合成や呼吸など の代謝とATPを関連付けて理解できている か。	0	0	0	6
				0	0		1
- 学期	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して工理解すること、また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。	4編 生物の多様性と生態系 植生と遷移	極生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の 要因を見出して理解できているか。また、植 生の遷移をバイオームと関連付けて理解でき ているか。	0	0	0	7
	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解する。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する、また、生態系の保全の重要性を認識する。	4編 生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解できているか。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解できているか。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解できているか。また、生態系の保全の重要性を認識できているか。	0	0	0	6
	期末考査			0	0		1
	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。	2編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見い だして理解するとともに、塩基の相補性とD NAの複製を関連付けて理解できているか。	0	0	0	7
	遺伝情報の発現に関する資料に基づ いて、DNAの塩基配列とタンパク 質のアミノ酸配列との関係を見いだ して理解する。	2編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とタンパク質	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、D NAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列 との関係を見いだして理解する。	0	0	0	6
2				0	0		1
期	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだい理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して東解する。また、体内環境の維持と自律神経と関連付けて理解する。	3編 ヒトの体と調節 体内環境と情報伝達	①体の調節に関する観察、実験などを行い、 体内での情報伝達が体の調節に関係している ことを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基 づいて、体内環境の維持とホルモンの働きと の関係を見出して理解する。また、体内環境 の維持を自律神経と関連付けて理解する。	0	0	0	7
	免疫に関する資料に基づいて、異物 を排除する防御機構が備わっている ことを身に出して理解する。	3編 ヒトの体と調節 免疫のはたらき	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除す る防御機構が備わっていることを身に出して 理解する。	0	0	0	6
L	期末考査			0	0		1
3 学期	生物や生物現象について、観察、実 験などを通して探究し、表現すること。	探究活動	生物や生物現象について、観察、実験などを 通して探究し、表現すること。	0	0	0	22 合計 78

年間授業計画

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地球を取り巻く環境について理解するととも に、科学的に探究するために必要な観察、実験		わり、それらに対する気付きから課題を設定し 解決しようとする態度が養われている。自然環
などに関する基本的な技能を身に付ける。	論などの探究の方法を習得するとともに、報告書の作成や発表を通して、何が分かるようになったかを表現することができる。	境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	・宇宙の誕生、及び太陽系の誕生に 小宇宙の誕生、及び太陽系の誕生に 太陽系の一員として誕生を見とし、生命を 生み出す条件を備えた要見となった ・宇宙の誕生についてはビッグバン を扱い、宇宙の誕生の場合の誕生の 過程で水素やヘリウムの原子がつく られたことを理解させる。		・等田や太陽系、地球の遅生について限心を 持ち、意欲的に学習しようとする。 (授業権 度) ・地球が誕生し、生命を生み出す条件を個え た意思となった遊観について関心を持ち、太 協議によばら起について関心を持ち、太 後年にかりようでする。 (大学のりようできない) ・大学のでは、 ・大学のである。 (大学ので、リカムディが選生して宇宙 の海社上がるまでの過程を理解している。 (定期考定)	0	0	0	7
	本基券の誕生については、原子上と 機系円整から振系が整性という。 ・ 世界を主もる。その際、整星が形式 ・ 大きないる。 ・ された。 ・ された。 もれた。 もれ。 もれ。 もれた。 もれ。 もれ。 もれ。 もれ。 もれ。 もれ。 もれ。 もれ		・ 大協が目転していることや自転列南が設定によって異なることについて、拠点の企理の規則を通して 実践なることについて、拠点の位置の規則を通して 予禁し、通切に実現することができる。 (周閲斐 出版事の必要を対策と事態し、現実型型感としてよっな必要、日本状態等の添いたついて、その形成地 限の塗いから設明することがで をきる。(後間評価) ・ 地球が出金をエ出け本株を優切さいることを、 大協からの影響や木が流体として存在できる環境、 所数大気が形成されたことなどがあら合いに判断 ・ 平当の遅生、及び大陽が必要やについて一連の流 たを理解するともに、発酵が高か合いに判断 とを理解するともに、発酵が高の一貫として 遅毛し、生命を生か出け本株を備えた惑星となった 過程を理解している。(定期考査)	0	0	0	6
		1章 地球の構成と運動	・地球の形と大きさについて、どのような方	0	0		1
1 学	・地球の野の特徴と大きさを、観察 や測定的維集などから見いださせて 理解させた。 地球の海ボ半径と極半移を扱い 地球が破密には球でないことを理解 させる。 ・地球の内部には屋構造があり、そ が地球の内部には屋構造があり、そ の状態が異なるとを理解されいて、地 級、マントル、外核、内核の区分と 放鉱を握るので、また、それぞれの代表 が成場な物で、地球のでので、 ・観察や測定を通して地殻やマント は、屋標構造についても砂。 は、屋標構造について地殻やマント は、屋標構造について建めて、 は、屋標構造について地殻やマント は、屋標構造について地殻やマント は、屋標構造について地殻やマント は、屋標構造について地殻やマント		法で場べたのか、また、某項の形や大さをは どうなかが、関係を排って意欲的に学習しよ。 シとする。 (接着能度) シとする。 (接着能度) シとする。 (はませいてはないとを見いだせる。 (課題他出) ・地殻やマントルを構成する岩石の特徴を見いだし、地球にの必要に海の密度で海溝造について説 (質問辞記) (で同辞記) を同語の密度で海溝造について記 を同ないないでは、地球内部の密度で海溝道について記 を記していて関係するとともに、地球内部の 海端波とその状態および構成物質について理 解している。 (定期考査)	0	0	0	7
	・プレートの分布と運動を開発を放成性 というにより、大地震から関係を表していた。 大地震から関係を放成性 を からからいた は特徴を やりは では、 大地震から関係を できない できない できない こと は特徴を やりが できない こと と思う。 また と を 世が と と の きない こと と と と きない こと と と と きない こと と と と きない こと と と きない こと と と きない こと と と きない こと と と きない と と と と と と と さない こと と と と さない と と と と と と と と と と さない と と と と と きない と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	3節 地膜と火山	の影響や地質構造と関わっているのか、関心を を持つて意味が上学習とようとする。(製産 施度) ・アレートの分布や移動から、プレート境を に見られる地形の物像とグレートがすことができ、大地形の砂塊とグレートの場合を見いたすことがで は、大地形の砂塊とグレートの脚の 内布がブレートの運動によって地震体のでは、 ・大地形の形像とグレートの脚の 内布がブレートの運動によって地震体の大いな。(発 所が作品) ・で成分が後であった力がからして、 ・変成対形成される過程と理解しまると、 ・変成対形成される過程と理解しまると、 ・変成対形成される過程と理解しまると、 ・変成対形成される過程と理解しまると、 ・変成対形成される過程と理解しまる。 ・が上へトの運動によって地震体のとで表情がある。 ・が生によった力がからして考慮がある。 ・が生によった力がからして考慮がある。 ・が生によった力がからとで表情がある。 ・が生によった力がからとで表情がある。 ・グレートの分布や原にいいて大規解を表が成立さる。(質問題を出しいる。 を替め、となった。とを理解している。 ・グレートの分布や原にいいて大理が ・が生態が発生のは組みにいいて関心 を持ち、とでいる。(発問が他にいいて表現 ・がといる。(発問が他にいいて表現 ・対したのがプレートの場合にいいて表現 ・地震の発生の仕組みを理解し、それたな 世態度が起ことができる。(発問が他にいいて考明した。 ・地震の発生の仕組みを理解し、それたな 世態度が起ことができる。(発問が他にいいて考明した。 ・地震の発生の仕組みを理解し、 ・地震の発生の仕組みを理解し、 ・地震の発生の仕組みを理解し、 ・地震の発生の仕組みを理解し、 ・地震の発生の仕組みを理解し、 ・地震の発生の性が、 ・地震の発生のは、 ・地震の発生の性が、 ・地震の発生の性が、 ・地震の発生の性が、 ・地震の発生の性が、 ・地震の発生の性が、 ・地震の発生のといいで考定して、 ・地震の発生のを関係といいで考し、 ・地震の発生のを関係とないでは、 ・地震の発生のを関係とないで、 ・かでいないのなが、 ・かでいないのなが、 ・かでいないのなが、 ・かでいないのなが、 ・かでいないのなが、 ・かでいないのなが、 ・かでいないのないのないのないのないので、 ・かでいないのないのないのないので、 ・かでいないのないのないのないので、 ・かでいないのないのないのないのないのないのないのないのないのないのないのないのないの	0	0	0	6
	星が見られることなどを学ばせる。 期末考査		(定期考查)	0	0		1

_							
	・気圧や気温の鉛直方向の変化に関する資料に基小で、大気の構造の する資料に基小で、大気の構造の 特徴を気の構造のいては、気圧や な気の構造したに変化すること な対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が対象を が表の が表の があたる。 があたる。 が表の があたる。 がたる。 をたる。 がたる。 を	1節 大気の構造と運動	・気温や気圧が高度とともに変化することや 大気の層構造について関心を持ち、意欲的に 学習しようとする。 (投業を度) ・資料をもとし、高度と気圧の関係や高度と 気温の関係を示すグラフを作成し、鉛値立向の の気圧や気温の変化の特膜をといざすととも に、大気の層構造が何をもとに分けられてい るのか考解することができる。(照難提出) ・乾球温度と経球温度による湿度 ・動定のは変を得するとといてる選度 ・動定のは変を得するとといてる現を ・動定のは変を得するとといてる男子もこ と、低製器出 ・雲の形成に必要なものを、実験を通して説明することができる。 (発間影響) ・電の形成に必要なものを、実験を通して説明することができる。 (発間影響) ・気の発展にある現象について説明することをできる。 (定期が開発を発展されて説明することとに、 各層の特徴や観測される現象について説明することとができる。 (定期を発展)	0	0	0	7
2学期	・地球全体として大気を通し球状の受動とは かりする太陽がの受熱量といるとして大気を通いからとしたが見 かりする太陽があり合っていることを発 がりたいることを発 がりたいることを発 がりたいることを必 がりたいることを必 がりたいることを がりたいることを がりたいることを がりたいることを がりたいることを がりたいることを がりたいることを がります。 でははなると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がります。 がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がりたいると がいていることを がいて、 がにまり、 がいて、 がにまり、 がいて、 がにまり、 がいて、 がにまり、 がいて、 がにまり、 がいて、 がにまり、 がいて、 がって、 がっと、 がって、 がっここと、 がっこと、 がっと、		大協放射と地球放射が地球全体でつり合っていることについて関心を対き、意欲的に学習しようとする。(授業施児)・大気と陪伴の大衛康によって地球規模で発施力が行われていることについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業施別・高校行われていることについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業施別することができる。(発明することを読み取り、認明することができる。(公園には一般が表現する。とれることを説がなけ、一般では一般である。(課題提出・地球規模で対象が、一般でである。(課題提出・地球規模で大き、人名、高校では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	6
	中間考査			0	0		1
	・地層や化ぶに関する観客などを行 い。古生物の整確などに基づいた程 生代、中生代、新生化の整質時代が 生代、中生代、新生化を置時代が 更に区分されることを理解さる。 ・地球環境の変化に関サる資料に基 ついて、大気の変化と毎台話が 足に関わりをもらながら地球環境が 変化してきたことを見いださせて理 解させる。	1節 地層のでき方	・地形や地層、化石について意欲的に環状や 実験を行い、土れらが作られた環境や原因を 守び、地球の歴史を解き明かす方法とその特 機を学習し、シナする、代養施度) ・砕陽松子の地種する様子を観察し、別川に よって形成される地形についてう客地、適別に 表現できる。(課題提出) ・堆積粉を適匹(観察する七能を習得し、観 果や予募を的際に表現できる。(課題提出) ・堆積精造を理貨構造を観することで、様 経生の環境や生じた地殻変動について適切 に推定することができる。(保期 ・地形や地局の環境や生じた地殻変動について適切 に推定するとができる。(保期 に基づき、程序性代や植原域、過去の地殻 変動について適切に推定することができる。 (課題提出)	0	0	0	7
	・地層や化石に関する観察などを行生 い、古生物や異なによりませい。 は、古生物・経験によりませい。 は、日本性や地質物性の実に細分と を理解させる。 ・ 古生代のの記 無虫、フズリ 中生代の忍ゴ を オテステンサイ、メラテット 中生代の忍ゴ ボーステンモナー、メラテット・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンサーン・ファンナー ・ ファンナーン・ファンナー ・ ファンナーン・ファンナー ・ ファンナーン・ファンナー ・ ファンナーン・ファンナー ・ ファンナーン・ファンナー ・ ファンナーン・ファンナー ・ ファンナー ・ ファン		・化石の観察方法を習得し、観察結果に基づいても生物の特徴を適切に事業することができる。 (展開提出) ・地球環境の変化に関する資料に基づき、地球環境の変化に関する資料に基づき、地球環境の変化に関する変料に基づき、大田等等や、大気の変化が生物に少表した影響について見いだすことができる。 (発問評価) ・地質時代が土地物の変楽に基づいてほ分されることを理解するとともに、各地質時代の出来事や物度が土地。(化石について難解している。 (定期考室)	0	0	0	7
	期末考査			0	0		1
3学期	・日本における自然競技の特徴を収 解させ、そんかもたらが思想と深く 形をおしたがもたらが思想と深く 形をは、大側型と話が自分が対象を が、側型とは一般である。 ・一を質すが、地域の自然を ・一を質すが、地域の自然を ・一を変すが、 が、は、 ・一を変すが、 ・一を変すが、 ・一を変すが、 ・一を変すが、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	日本の自然階級があたら下実者と思思について関心をもあ。 彼的は学習とようとする。 (投棄態度) 「自然決策の起きる状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見力・考え力を多くでつけまりません。 (現実を対していていていていていていていていている。) (現実を対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	0	0	0	21 合計
			・地球規模で起きている自然環境の変化について理解するとともに、それらの変化が人間活動の影響によって起きていることを理解し				
			西朝の影響にようし起さしいのことを理解している。 (定期考査)				78

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

 教 科: 保健体育
 科 目: 体育

 対象学年組:第 1 学年 1 組~ 1 組

 単位数: 2 単位

教科担当者: (1組:大山宗一郎)(組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (現代高等保健体育

の目標: 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとと もに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 教科 保健体育

【知 識 及 び 技 能 】各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊に継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	係つくり運動 【知識及びは能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動 を継続する意義、体の構造、運動の原則などを増解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本で仲間の課題を発し、 「思考力、関小力、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、	 ・指導事項 ストレッチ・筋カトレーニン が・コーディネーション・なわと び・おにごっこ ・学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	知識・技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心 身の健康、健康や优力の保持物造につながる意義があること について、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や 仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】体つくり運動の学習に自主 的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きな どを大切にしようとしている。	0	0	0	7
1	体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代 のスポーツの発展について理解する 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化 的特性や現代のスポーツの発展について、課題 を発見し、よりよい解於に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える 【学びに向から力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 についての学習に自主的に取り組む。	・指導事項 スポーツの始まりと変遷・文化としての スポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効 果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツを環境 ・教科書・学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について 【知識・技能】言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】課題を発見しよりよい環境に向 けて思考し判断するとともに、他者に伝えようとして いる 【主体的に学習に取り組む態度】自主的に取り組んで いる。	0	0	0	7
学期	(平下ミントン) 「知識及び味能」 役割に応じたボール機作や変定した用具の機 作と確保した動きによって望いた場所をめぐる攻防を行う 【思考力、判断力、表現力等」 自己デチーの問題を殺し、 合理的た解決に向けて運動の取り組み力を工夫し、自己学件の同 明うえを他常に伝える。 【学びに向かう力、人間や影 自主的に取り組むととうに、 「学びに向かう力、人間や影 自主的に取り組むというに可能 ない。 ない、このならい、 に対していてのならい。 ない、 にい、 にい、 にい、 にい、 にい、 にい、 にい、 に	 ・指導事項 サーブ・ドライブ・ クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用個人の学習計画や進捗を管理する 	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所 やねらった場所に打ち返すことができる。 「思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動 の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応 じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしてい る。	0	0	0	7
	サッカー 【知識及び技能】ゴール澄では、安定したボール機作と空間を 作りだすなどの動きによってゴール部への限入などから及防を することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動 きを比較して、現をや改善すべきボイントとその理由を仲間に 証えること。 【学びた向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組も りとすること。	・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	0	0	0	7
	スタケットボール 【知識及び生か、大変にたボール機作と空間を作りだすなどの動きによってゴール部への段人などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己やや間のあきた比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に試えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・シュート ・教材 学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切 に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習し た具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己 が取り組む権助運動を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】相手を尊重するなどのフェ アなプレイを大切にしようとしている。	0	0	0	10
2 学期	マント運動 【知識及び味能】回転系やの技系の基本的な技を得らかに安定 して行うこと、条件を変えた技や優積を行うこと及びそれら を構成し減せ方。表現力等】技などの自己や仲間の課題を 及し、合理がな解えに向けて運動の取り組みかを工大する。自 足の考えたことを他者に改える。 【学びに向からり、側間等】 自主的に取り組み、よい流枝を 原で、取り出からか、機な合う。一人一、少多を確保する。 個や終載を大切にすることなどや、健康・安全を確保する。	・指導事項 回転系 巧技系 ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理 的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性がある ことについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】健康や安全を確保するために、体調や 環接に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、 互いに讃え合おうとしている。	0	0	0	10
	アニス 【知識及び技能】役割に応じたボール機件や安定した用且の機 作と連携した動きによって空いた場所をめくる支防を行う 【思考力、判断力、表現の等) 品とテチームの調整を発し、 合理的た解状に向けて運動の取り組み力を工来し、自己や仲間の考えを他常に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、 「学びに向かう力、人間性等】自主のに取り組むといる合いに貢献していまった。人人の違いた。したなん。 などを「利する。 私いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を機保する。	・指導事項 サーブ・フォア・ バック ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所 やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違 いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動 の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応 じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしてい る。	0	0	0	10
3	痔久走 【知識及び技能】自己に適したペースを 維持して走る 【思考力、判断力、表現力等】合理的な 動きと自己や仲間の動きを比較して、成 果や改善すペントとその理由を仲 間に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技 の学習に自主的に取り組もうとするこ	・指導事項 フォーム・呼吸法 ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技の学習に自主的に取り組むうとしている。	0	0	0	10
学期	回載 「知識及び技能」役割に応じたボール機件や安定した用具の機 作と連集した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う に思考力、判断力、表現力等」ロモデームの部盤を製し、 合理的た解状に向けて運動の取り組み力を工夫し、自己や仲間 の考えを他常に伝える。 【学びに向かう力、人間やは、作戦をなどにつくいをの話合いに買款 すること・一人への歌いに応じていっての話合いに買款 たいに助け合い教え合うなどや、健康・安全を機保する。 底いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を機保する。	・指導事項 サーブ・フォア・ バック ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所 やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違 いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動 の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応 じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしてい る。	0	0	0	10 合計 78

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科

保健体育 科 | 単位数: 2 単位 科目 体育

(組:

教 科: 保健体育 科 目: 教 科: 床壁体目 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 教科担当者: (1組:大山宗一郎) 使用教科書: (現代高等保健体育 1組

(組:) (組:) (組:) (組:

の目標: 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるカ を養う。

科目 体育 の目標:

Γ	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	よっくり 受動 とのものである。 地域高度が設定した機能する。 に関われ、東京が自己では関わる。 に関われ、東京が自己では関の原理を発見し、各種のな解説に向けて機能の取り があるがまたがっと、世代を引きませた。ことを他れたに助って、機会のな があるがまたがっと、世代を引きませた。ことを他れたに助って、教会おかとす のこと、一人人への無いなどに動きとどを大切にしようとすること、話し合いに貢献する こととできませた。 ことなどで連邦・安全を確保すること	・指導事項 ストレッチ・筋カトレーニング・コーディネーション・ なわとび・おにごっこ ・学習シート 一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】定開的・計画的に運動を継続することは、心身の機嫌、健康や体力の保持増進につなが る重複かあることについて、言ったり書き出したりしている。 では、自己や中間の課題に応じた強度、時間、回数、類 度を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】体つくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違い に応じた動きなどを大切にしようとしている。	0	0	0	守奴
1	係育理論 「知識及びは鉄龍」スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する 「思考力、判断力、表現力等」スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展に ついて、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に 低えるに約った。人間体等 「子びこの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組 がニーンの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組	・指導事項 スポーツにおける技術と体力、スポーツにおける技術と戦術、技 能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニ ング ・数科書・学習シート ・人1台浦大の活用 個人の学習計画や連捗を管理する	スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について 「知識、技能」言ったり書きだしたりしている。 「思考・判断、表現】課題を発見しよりよい機能に向けて思考し判断するとともに、他者に 伝えようとしている 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。	0	0	0	7
学期	バドミントン 「知識及び技能」役割に応じたボール機作や変定した用具の操作と連携した動き によって空いた場所をめて今政防を行う [思考力、判断力、表現分等] 自己や竹川の間距を発見し、合理的な解決に向 けて運動の取り組み方を工具し、自己や竹間の考えを他者に伝える。 「学びに向かう力、人間性等] 自むが底り組むとともに、フェアなプレイを大 切する。作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプ レイなどを大切にする。互いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を確保す る。	 指導事項 サーブ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ・ドロップ・・製材 学習シート・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	「知識・技能」ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 「思考・判断・表現」体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽 しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 「学びに向かう力、人間性等】 −人−人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にし ようとしている。	0	0	0	7
	サッカー 「知識及び技能」ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 1思考力、判断力、表現力場 うる間がお動きと自己や間の動きを比較して、成 鬼や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	 ・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・人 1 台級未の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	「知識・技能」、戦権や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のボイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 「思考・判断・表現」連択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなブレイを大切にしようとしている。	0	0	0	7
2	ハスケットボール 「知識及び技能」ゴルル型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 「思考力、判断力、表現力等」で超れな動とも自己や中間の動きをはなして、成 是や改善すべきポイントとその理由を仲間に応えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人 1 台端木の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】製術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・実験】選択した運動と必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなブレイを大切にしようとしている。	0	0	0	16
学期		- 指導事項 回転系 巧技系 ・教材 学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、 同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断、表現】健康学を全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等 について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに讃え合おうとしている。	0	0	0	16
	アニス 「知識及び技能」役割に応じたボール操作や変定した用具の操作と連携した動き によって強いた場所をかくる交防を行う 旧思考力、判断力、実現力等」自己やケームの課題を発見し、合理的な解決に向 けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に及る。 【学びに向かう力、人間性等】自分に仮り組むともに、フェアなプレイを大 切する。作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプ レイなどを大切にする。互いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を確保す る。	 ・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・人 1 台継末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	知職・技能 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	0	0	0	6
3学期		 ・指導事項 フォーム・呼吸法 ・教材 学習シート ・人 1台継末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったベースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陰上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】陰上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	6
	母輩 「知識及び技能」役割に応じたボール機件や変定した用具の機件と連携した動き によって受いた場所をめくる支防を行う [思考力、判断力、表現力等] 自己や什画の問題を発見し、合理的な解決に向 けて運動の取り組み方を工来し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 「学びに向かう力、周囲性等] 自むが取り加せらとした。フェアなプレイを大 切する。作戦などについての話台いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプ レイなどを大切にする。近いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を確保す 5。	 ・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・人 1 台端未の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	知職・技能 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 「思考・判断・表現」 体力や技能の危険、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 「学びに向から力、人間性等】 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	0	0	0	6 合計 78

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 科 目:

保健体育 科 ^{単位数}: ³ 単位 科目 体育

(組:

教 科: 保健体育

教科: 体理体育 対象学年組:第 3 学年 1 組~ 教科担当者: (1組:大山宗一郎) 使用教科書: (現代高等保健体育 (組:

1 組 (組:) (組:) (組:)

の目標: 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるカを養う。

[知 議 及 び 技 能] 各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
[思考力、判断力、表現力等] 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
[学びに向かう力、人間性等] 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養

科目 体育

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う の目標:

科目 体育 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】

【思考力、判断力、表現力等】

【思考力、判断力、表現力等】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊小に継続するための課題を発見し、合理的、
わたって運動を豊に継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の
必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

とを他者に伝える力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

「学びに向かう力、人間性等】

「運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、
自己の責任を果たす、参画する、I人I人の違いを大切にしようとするなどの意
改を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に
とを他者に伝える力を養う。

・指導事項 ストレッチ・筋力トレーニング・コーディネーション・ なわとび・おにごっこ ・学習シート ・	知識・技能】 定期の・計画的に運動を連続することは、心身の健康、健康や体力の保持関連につなが 意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ねらいや体力の程度を踏まえ。自己や仲間の護題に応じた強度、時間、回数、類 程を設定している。 【学びに向かうか、人間性等】体つくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違い に応じた動きを全大切にしようとしている。 【思考・判断・表現】 課題を登見しよりまい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に 伝えようとしている。 【空がに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。 【対職・技能】 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができ る。 【思考・判断・表現】 健康とかく技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽 しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽 しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【知識・技能】 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができ る。 【明確・技能】 紫原や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが政防のポイン しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【知識・技能】 鉄原や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが政防のポイン しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【知識・技能】 鉄原や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが政防のポイン してあることについて、学習した具体例を挙げている。 「経験・判断・表現】 選択した運動に必要な体験や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 「発生、しかう力、人間性等】 相手を複雑をなどなのフェアなアゼレイを対切にしようとして、 を定だに向いう力、人間性等】 相手を複雑する などのフェアなアゼノイを対切にしようとして、 を定じたのう力、 人間性等)相写を複雑する などのフェアなアゼノイを対切にしようとして、		0	0	11 11 10
スポーツにおける技術と体力、スポーツにおける技術と戦術、技能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニング・教科書・学習シート・一人1台編末の活用・観人の学習計画や進捗を管理する・・指導事項・サーブ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ・教材・学習シート・一人1台編末の活用・観人の学習計画や進捗を管理する・指導事項・バス・ドリブル・シュート・教材・学習シート・一人1台編末の活用・	【知識・技能】高ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表理】課題を発しよりまい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に 伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。 【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができ る。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽 しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にし ようとしている。 【知識・技能】製術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイン トであることについて、学習した異体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでい る。				
 ブ・ドロップ ・教材 学習シート・人 1 合端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する ・指導事項 パス・ドリブル・シュート・教材 学習シート ・大人 1 台端末の活用 	る。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 【知識・技能】 製術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。		0	0	10
・教材 学習シート・一人1台端末の活用	トであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 る。			T	
	1子でに向かりが、人間正守1 10子と中重す がなしが アニアネティー 2人がたしま プレンス いる。	0	0	0	10
・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】 戦務や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 足について、学習した異人体例を挙げている。 記巻・判断・表現」選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	0	0	0	23
・指導事項 回転系 巧技系 ・教材 学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、 同じ系統の技には法連性があることについて、学習した具体解を挙げている。 【思考・判断・表史】健康学女を全様保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等 について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに讃え合おうとしている。	0	0	0	22
・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・人1台雑末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	る。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽 しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。		0	0	10
・指導事項 フォーム・呼吸法 ・教材 学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	10
・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・人 1 台端未の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	[知識・技能] ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。・判断・表現] 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽したなめの活動の方法や修正の仕方を見付けている。 「学びに向かう力、人間性等」 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	0	0	H	10 合計 117
1	・数材 学習シート ・	・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・数材 学習シート ・人1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 「短線・技能】製術や中戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習に見体的を挙げている。 「学びに向かう力、人間性等】 相手を尊重するだのの書館のな動き方のポイントがあり、 「世界・判断・表現」体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに廃止を被数 「学習シート」 「知識・技能】が一たを相手側のコートの空いた場所でねらった場所に打ち返すことができる。 「学びに向かう力、人間性等】 一人人の違いに応じた環境を終了ている。 「主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに讃え合わうとしている。 「連算事項 サーブ・フォア・バック ・	・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・数材 学習シート ・人」台端末の活用 関人の学習計画や連排を管理する 「知識・技能」 技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系をの技には決進性があることについて、学習した具体的を挙げている。 「要求・判断・表現」権を安全を維持するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系をの技には決進性があることについて、学習した具体的を挙げている。 「選考・判断・表現」健康や変全を維持することができる。「選考・対応、体験や規定に応じた適切な練習方法等」について、学習上た具体的を挙げている。 「選考・判断・表現」健康や安全を維持された。体験や規定に応じた適切な練習方法等」について、使力した良いの活動方方が上、人自端末の活用 関人の学習計画や連排を管理する 「知識・技能」ボールを相手側のコートの空いた場所やおらった場所に打ち返すことができる。「学に、向かう力、人間性等」一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にし、ようとしている。 「知識・技能」自己の体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに聴技を楽したための活動方方法や確正の仕方を見付けている。 「国考・判断・表現」体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに聴えを表したいる。 「学に、向かう力、人間性等」 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしいたの活動方がより確正の仕方を見付けている。 「選考・判断・表現」体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに随上競技を発達したり、の活動方方法や確正の仕方を見付けている。「選等・判断・表現」体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに随上を変美したいめ活動方法と確正の仕方を見付けている。「と考しまための活動方法と確正の仕方を見付けている。「と考しまための活動方法と確正の仕方を見付けている。「と考しまための活動方法と確正の仕方を見付けている。「と考しまための活動方法と修正の仕方を見付けている。「と知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やおもった場所に打ち返すことができる。「第一年」「知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やおもった場所に打ち返すことができる。「単等・判断・表現」体力や技能の程度、性別等の違いに応じた機度で修正の仕方を見付けている。「と考しまための活動方法と修正の仕方を見付けている。「と考しまたを表すのにありまたを経来のだけを見付けている。「と考しまたを表すのことともいませを表もいまたを表すのことともいませを表もいまたを記述を表もいまたを記述を表すのにないまたと表もいまたを記述を表もいまたと	・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・数材 学習シート ・人1 台端末の活用	・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・数有 学習シート ・人1 台端末の活用 図人の学習計画や進捗を管理する 「短素・技能」を称や作歌に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体内を挙げている。 「学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなブレイを大切にしようとしている。 「学びに向かう力、人間性等】を整定と変を準備運動や直が取り組む植物運動を選んでいる。 「学びに向かう力、人間性等】を整定している。 「といって、学習した具体内を挙げている。 「学がに向から力、人間性等】を整定して、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで

高等学校 令和7年度(4学年用) 教科 体育

科 目:

保健体育 科 | 単位数: 2 単位 科目 体育

教 科: 保健体育 教科: 体理体目 対象学年組:第 3 学年 1 組~ 教科担当者: (1組:大山宗一郎) 使用教科書: (現代高等保健体育

1 組 (組: (組:

(組:) (組:)

(組:

教科 保健体育

の目標: 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

科目 体育

【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えた にとを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、 自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとするなどの意 次を育で名とともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に 親しむ態度を養う。 【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯に わたって運動を豊に継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の 必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	部つくり運動 土田職及び民港。体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、 体の構造、運動の原則などを掲載する。 江里秀力、判断力、来投力等 1 金で仲間の発題を発見し、合理的な解析に向け ご運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝え ること 【学びに向かう力、人間快等】自主的に取り組むとともに、定いに助け合い教え を対きとすること。一人一人の選いに広じた動きなどを大切にしようとするこ	・指導事項 ストレッチ・筋カトレーニング・コーディネーション・ なわとび・おにごっこ ・学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】定期的・計画的に運動を細胞することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる置象があることについて、言ったり書き出したりしている。 企業数があることについて、言ったり書き出したりしている。 所能が、実別しならいや体力の健変を指えた。自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻 足を設定した。 「全別でいた。」というない。 「学びに助から力、人間性等」体つくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	0	0	0	7
	係有質値 「知識及び検能」スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する 「思考力、判断力、表現力等」スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展に ついて、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に ほえる (まかしかうう)、人間性等 (まなごなどのからか)、人間性等)	・指導事項 スポーツにおける技術と体力、スポーツにおける技術と戦術、技 能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニ ング・ ・教科書・学習シート ・一人1古福天の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について 【知識・技能』言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・夫規】課題を発見しよりよい機能に向けて思考し判断するとともに、他者に 伝えようとしている 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。	0	0	0	7
1 学期	「Aドミントン 「知識及び転換」 役割に応じたボール機作や安定した用具の機作と連携した動き によって窓いた場所をめぐる攻防を行う に思考力、判断力、実対が当 日セゲームの課題を発見し、合理的な解状に向 けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 「学びに向かう力、展開性勢 日本的に取り組むともに、フェアなプレイを大 切する。作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプ レイなどを大切にする。互いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を確保す る。	・指導事項 サーブ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロ ブ・ドロップ ・製材 学習シート ・一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知職・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を棄しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 − 人 − 人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	0	0	0	7
	サッカー 「加藤及び枝雑」ゴール型では、安定したボール機作と空間を作りだすたどの動きによってゴール側への見入などから攻路とすることができるようにする。 12巻方、判断力、表現力第一名即分成者とも日本や間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることに 「学びに向かう力、人間性等」単枝の学習に自主的に取り組もうとすること。	 ・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・人 16歳末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	【知識・技能】戦権や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体的企業がでいる。 思考・判断・表現』選択した選修に必要な停御運動や自己が取り組む補助運動を選んでい る。 【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなブレイを大切にしようとして いる。	0	0	0	7
2	スタケントボール 【知識及び性数 ゴール型では、安安したボール機能と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】を創かな動きと自て外間の動きを北坡して、成 基や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	 ・指導事項 バス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・人 1 合業水の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	【知識・技能】製剤や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・実別・選択した運動と必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【思考・判断・実別・選択した運動と必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】相手を専重するなどのフェアなブレイを大切にしようとしている。	0	0	0	15
学期	マット連動 【知職及び技能】回転系や内技系の基本的な技を得らかに安定して行うこと、条 体を変えた技や等機技や行うこと及びそれらを構成し高技す。 記患力が、用物が力、表現分割 【女との自己や中間の機能を発見し、合理的な解 【等力に同いる力が、 「中のに向いる力」人と関せる「自主的に取り組み、よい高技を観える。 近いに助 けるい歌なきカー人ー人の違いに応じた異個や機能を大切にすることなどや、 機能・安全を確保する。	 指導事項 回転系 巧技系 教材 学習シート 一人 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、 同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断、表現】健康学を全体機件もために、体調や環境に応じた適切な練習方法等 について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに讃え合おうとしている。	0	0	0	15
	アニス 「知識版の技能」役割に広じたボール機作や安定した用具の機作と連携した動き によって窓いた場所をかくなり取ら行う に思って窓いた場所をかくなり取ら行う 「思考力、判断力、実現力等」自己やゲームの課題を発見し、合理的な解状に向 けて運動の取り組み方を工業し、自己や仲間の考えを他者に反える。 「学びに向かう力、展開性等」自分的に取り扱うともに、フェアなプレイを大 切する。作機などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプ レイなどを大切にする。互いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を確保す る。	 ・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・人 16様末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する 	【知職・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を棄しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう人、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	0	0	0	7
3 学期		・指導事項 フォーム・呼吸法 ・教材 学習シート ・人 16集末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	7
	原理 「加職及び技能」役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空いた場所をかくる攻防を行う。4の距離を発見し、合理的な解決に向 「思考力、制動力、実現分第1日でサイ押の等ととを整常に応える は「学びに動かう力、人間性態」自主的に取り組むとともに、フェアなアレイを大 切する、作戦などについての話らいに貢献するとと、一人人の強いに応じたプ レイなどを大切にする。近いに助け合い教え合うなどや、健康・安全を確保す	指導事項 サーブ・フォア・バック ・数す 学習シート ・入 1 台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	知識・技能 ボールを相手側のヨートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 「思考・判断・表現] 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに蘇技を楽 しむための活動の方法や修正の化力を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にし ようとしている。		0	0	6 合計 78
L				Ш			

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教 科: 保健体育 科 目: 保健 単位数: 1 単位

の目標:

対象学年組:第 1学年 1組~ 1組

教科担当者: (1組:大山宗一郎)(組:)(組:)(組:)(組:)

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標:

【知 識 及 び 技 能】各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	継事の考え方 「知識及び兵能」国民の健康課題や健康の考え方は、国民の 健康大権の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきている こと、また、様々を援助の影響を受けながら、主体を環境の 相互作用の下に成り立つていること。 思考力、側面の下に成り立つでいること。 影見、健康で安全に関する原則や概念に着目して解決の方 (学びに向かう力、人間性等) 提取の考え方について、課題 の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 健康の考え方となり たち・私達の健康の姿・健康に関 する意思決定・行動選択・環境づ くり ・教科書 学習シート ・一人1台端末の活用	【知識及び接触】国民の機能調整や機能の考え方は、国民の機能未得の向上を 疾病構造の度化作って業とつてきていること。また、様々な契則の影響を受 けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを言ったり、書き 出したりしている。 見思考力、判断力、突視力等〕健康の考え方について課題を発見し、健康や安 会に関する原料や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それ 「そび、日から力」人間性等】健康の考え方について、課題の解決に向けた学 書に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	5
1 学期	展代の感染症とその予防 「知義及び技能・磁染能の発生や流行には、時代や地域に よって違いがかられること。予防には、個人の取り組み及び はあり、対象があかられること。予防には、個人の取り組み及び 【思考力、判断力、表現力等】現代の感染症とその予防に いて閲題を発見、健康や安全に関うる原則や癒気に常自し で解決の方法を終行し判断するとともに、それらを表現する ことが、これらの表別であり、 【学びに向かう力、人間性等】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 現代の感染症・感染症の予防・性感染症エイズとその 予防 ・教科書 学習シート ・一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】感染症の発生や流行には、時代や地域に は会的な対策を行う必要があること。予防には、個人の取り組み及び りしている。 【思考力、判断力、表現力等】現代の感染症とその予防について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して 研決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	4
	生活習慣病などの予防と回復 【知識及び状態、健康の保持機能と生活習慣病などの予防と 回復には、運動、食事、供業及び嫌疑の調和のとれた生活の 民業快失病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。 【思考力、判断力、表現力等】生活習慣病などの予防と回復 について課題を発見、世末学校主に関する原則や概念に考 日と「特決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現 子など、 一般でいた。 「一般では、一般では、一般では、一般では、 でいた。」 「一般では、一般では、 「一を 「一を 「一を 「一を 「一を 「一を 「一を 「一を 「一を 「一を	・指導事項 生活習慣の予防と回復・がんの原因と予防・がんの治療と回復・運動・食事・休養睡眠と健康・教科書 学習シート・一人1台端末の活用	【知識及び技能】健康の保持関連と生活習慣病などの予防と 回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の 実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること を言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表型力等】生活習慣病などの予防と回復 について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着 目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現 しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】生活習慣病などの予防と回復 について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうと している。	0	0	0	4
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		0	0		1
	興徳・張浩・薬物点用と健康 「知魔及び妹弟」 ・	・指導事項 喫煙と健康・飲酒と健康・薬物乱用と健康・教科書 学習シート・一人1台端末の活用	1知識及び技能] 甲煙と底面は、生活管標的などの薬因になること、また、薬物などは必免破壊を社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要なことを言ったり、書いたりしている。 128 当力、判断力、表現力等】 喫煙・焼酒・薬物私用と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、されらを表現している。 「学びに向かう力、人間性等」 喫煙・飲酒・薬物私用と健康について課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むうとしている。	0	0	0	6
2 学期	精神疾患の予防と回復 知識及び技能、運動食事体実免班職股の調和のとれた生活 を実践するともに、心身の不調に気づくことが重要である こと、また、疾病を早期発見及が社会的な対策が必要である こと、また、疾病と甲類見及が社会的な対策が必要である こと、 【思考力、判断力、表現力等】精神疾患の予防と回復につい で課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に参目して 就決の方法を対け、判断するともに、それらを表現する 【学びに向かう力、人間性等】精神疾患の予防と回復につい で、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む で、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む	銀倉手供養及び種便の薄和のとれた生活。					8
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		0	0		1
	医室な性診ってり 「知識及的整備とそれに応じた個人の取り組み が必要であること。また、交通事故を防止するには、専両の 特性の理解、安全距离や中界化を間のな行動。自他の生命 を確重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故に 「個番を任じめとに責任が至してること。 「思考力、判断力、表現力等」安全な社会づくりについて需 個を発見、、機能や安全に関するともに、それらを表現すること 「アマに向かう、開始等」を全な社会を表現すること 個の解決に向けた学習に自主的に取り離む。	 ・指導事項 事故の現状と発生要因・安全な社会の形成・交通における安全 ・数科書 学習シート ・一人1台端末の活用 	「知識及り技能」環境が整備とそれに応じた個人の限り組みが必要であること。また、交通事故を的止すらには、準高の特性の関係、安全課転や歩行かと 2番切な行動、自他の生命を導重する態度、交通環境の影像が関わること。交通事故には構像をはじめとした責任が多せることについて言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】安全な社会づくりについて課題を発見し、健康で安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を終行し判断するとともに、それらを表しようとしている。 【学びに前から力、人間告考】安全な社会づくりについて課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	5
3 学期	【知識及び技能】適切な応急率当は確常や疾病の悪化を軽減 できること、応急率当には正しい手順で対距があること、ま た、応急率当は確や疾病によって身体が関切が適差ととも は損なわれてい、傷があっることが、選やかに行う必要が と思うが、判断力、差現力等)適切な応率当について課題 を発見し、健康や安全に関する原則や髪に常見して解決の 方法を設行し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かうか、人間性等】意切な心を手出について課題 の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 応急手当の意義とその基本・日常的な応急手当・心肺 蘇生法 ・教科書 学習シート ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】適切な応急手当は障害や疾病の悪化を軽減できること、応急 手当には正しい手順や方法があること、また、障害や疾病によって身体が時間 の経過乏とは「損なわれていく場合があることがら、速やかに行う必要がある こしを言うたり、書き出したりしている。 こしを言うたり、書き出したりしている。 となるに関する関連が表を発見し、健康や を全に関する原則・概念に関して解念の方法を試行し判断するとともに、そ はらを表現しようとしている。 「学びに向うカー人、見情性も、適切な必急手当について課題の解決に向けた学 習に自主的に取り組もうとしている。	0	0	0	4
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		0	0		1
		7 X 1 1 2 m 21 5 7 2 1 H 7 H					合計 39

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教 科: 保健体育 科 目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 1 組

教科担当者: (1組:大山宗一郎)(組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標: 生涯にわたって継続して健康の保持増進を行い、

運動に親しみ明るく豊かで活力ある生活を営む態度を培う。 【知 識 及 び 技 能 】 各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力あ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
学	生涯を通じる健康 【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解 する。 【思考・判断・表現等】 生涯を通じる健康に関する情報から課 題を発見し、健康に関する原則や概念 に着目して解決の方法を思考し判断す るととないたする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を知じたけない。 【学びに向から力、自他の健康の保持増 地や回復及び健康な社会りについ きるようにする。	生涯を通じる健康 ・指導事項 ライフステージと健康、思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶、結婚と健康 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	13
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		0	0		1
*	生涯を通じる健康 【知識】 生涯を通じる健康について理解 する。 【思考・判断・表現等】 生涯を通じる健康に関する情報から課 題を発見し、健康に関する原則や概念 に着目して解決の方法を思考し判断するととに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増 進や回復及び健康な社会づくりについ きるようにする。	生涯を通じる健康 ・指導事項 中高年期と健康、働くことと 健康、労働災害と健康、健康 的な職業生活、 健康を支える環境づくり 大壌汚染と健康、 水質汚濁・ 大壌汚染と健康、 こみ処理と 上下水道の整備 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	14
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		0	0		1
3 学期	健康と環境について,課題の解決を目指して,知識を活用した学習活動などにより,科学的に考え,判断し,それらを表している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境について関心をもち学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 食品の安全性、食品衛生にかかわる活動、保健サービスとその活 用、医療サービスとその活用、医療 要品の制度とその活用、医 素品の制度とその活用、さまざま な保健活動や社会的対策、健康に 関する環境づくりと社会参加	【知識・技能】 身体の環境に対する適応能力や至適範囲について理解したことを言ったり,書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 健康と環境について,健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり,選んだりするなどして,それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境について,健康に関する資料を見たり,自分たちの生活を振り返ったりするなどしている。	0	0	0	9
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		0	0		1
_	1	•			•		合計

 高等学校 令和7年度 (1 学年用) 教科
 芸術
 芸術 科目: 美術 I
 芸術 単位数: 3 単位

教 科: 芸術 科 目: 美術 I

対象学年組:第 1 学年 1 組

教科担当者: 旭 仁也

使用教科書: (日本文教出版 高校生の美術 I)

教科 芸術科 美術 の目標: 授業を通して美術の事をもっともっと好きになる。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術 I の目標: 多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵 ・ 彫	表現デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
	内容:素描 目標:カッターを用いて鉛筆を削れ るようになる。鉛筆で絵を描く。	鉛筆の基本的な使い方を覚える。 描く対象を注意深く観察する。 かの人は言った「見よ、そして見 よ」と。 観察から得られる気付きを言語化 していく。	0			0	知:カッターナイフの握り方や使い方を理解し、素描に適した形に鉛筆を削る事ができる。 思:モチーフを観察し、鉛筆画で表現しようとしている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	0	0	0	18
期		色彩の魅力に触れる、感じる。 画用紙に色彩の広がりを生み出 す。 世の中は様々な色があることを知 り、それを尊重する心を養う。	0			0	知:適切な水分量で絵の具を溶き、筆で描画 する事ができる。 思:にじみやぼかし、かすれなどの多様な表 現を作品制作に取り入れている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	22
2	とを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見か た、見え方は単一ではなく多様性 に溢れているという事に気付かせる。			0	0	知:デジタル表現をアナログ表現に転換する 事ができる。 思:自分の追い求める作品を目指して、思考 し、判断し、表現しようとしている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	16
	小 应 力亚峰-A	テーマから発想構想し、イメージ を単純な幾何形体に置き換え、構 成する。 デ・サインの定義を知り、社会の 中で用いられる様々なデザインを 意識する心を芽生えさせる。		0		0	知:アクリル絵の具を活用して、ムラなく混色し、丁寧で均質に着彩する事ができる。 思:自分の求めるイメージを目指して、思考し、単純化した形態を構成して、具現化している。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	0	0	0	30
	世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。 自然に対する愛着を感じ、普段使いの陶器の成り立ちを知る。 万物を大切に扱う心を養う。	0			0	知:粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや 弓などの道具を活用して、作品制作してい る。 思:回転するろくろに置かれた粘土から、物 の理を感じる事ができる。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	31
期											合 計 117

 高等学校
 令和7年度
 (2学年用)
 教科
 芸術
 科目
 美術Ⅱ

 芸術
 科目: 美術Ⅱ
 単位数: 2
 単位数: 2
 単位

教科: 芸術 科目: 美術Ⅱ

対象学年組:第 2 学年 1 組

教科担当者: 旭 仁也

使用教科書: (日本文教出版 高校生の美術Ⅱ)

教科 芸術科 美術 の目標: 授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術Ⅱ の目標: 多様な表現方法を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
首具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵·彫	表現デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
学	内容:バターナイフ制作 目標:木材を使用し、削りだすこと により形を作っていく過程をとおし て、造形力を養う。	デザインを数多く考え、使いやすく美しい形を考えることにより、 デザインとは何かを学ぶ。 糸鋸や木彫り用ナイフの基本的な 使い方を覚える。	0	0		0	知:糸鋸の使い方を理解し、適した形に木材を削る事ができる。 思:使いやすく美しい形とは何かを考え、表現しようとしている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	0	0	0	26
	内容:写真表現 目標:多様な視点や価値観があることを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れているという事に気付かせる。			0	0	知:デジタル表現をアナログ表現に転換する 事ができる。 思:自分の追い求める作品を目指して、思考 し、判断し、表現しようとしている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	8
期	内容:模刻 目標:モチーフをよく観察し、特徴 を捉え、立体的に再現する。	モチーフを深く観察し、構造や規 則性などを考え、特徴を把握す る。 観察から感じ取ったことを石粉粘 土により再現する事で、造形感覚 を養う。	0			0	知: 鉛筆デッサンでモチーフの特徴を把握 し、石粉粘土を用いてその特徴を再現出来て いる。 思:自分の求めるイメージを目指して、思考 し、具現化している。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	24
	内容:陶芸 目標:作品制作を通じて、用の美の 世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。 土や釉薬の特性を学び、陶器の成 り立ちを知る。 万物を大切に扱う心を養う。	0			0	知:粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや 弓などの道具を活用して、作品制作してい る。 思:回転するろくろに置かれた粘土から、物 の理を感じる事ができる。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	20
- 期											合 計 78

高等学校 令和7年度(3学年用)教科 芸術 科目 美術皿

教 科: 芸術 科 目: 美術 T 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組

道具の特性を理解して、作品制作に活用できる

教科担当者: 旭 仁也

期

内容: 木版画 目標: 複製芸術の行程を学び、 モノクロ表現の可能性を追求する。

3 | 内容:ポスター表現 | 目標:作品制作を通じて、広告美術 の世界について理解を深める。

使用教科書: (日本文教出版 高校生の美術皿)

教科 芸術科 美術 の目標: 授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

> モノクロ表現で原画を制作し、それを木版画に起こしていく。 彫刻刀の扱い方を体得し、彫によ

> る線の強弱など多様な表現に挑戦する。

商業と美術の関わりに興味関心を

持ち、広告に使用されているポス ターについて理解を深める。

写真や色面構成などを効果的に活 用し、明快な画面構成で伝える技 術を学ぶ。

ବ	0	う表現したらよいかを見る。		1 <u>L</u> L	, a.)					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵・彫	表現	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
学	内容:陶芸 目標:作品制作を通じて、用の美の 世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。 土や釉薬の特性を学び、陶器の成り立ちを知る。 菊練りなど、陶芸における基本的な動作を体得する。 手回しろくろを中心に扱うが、慣れてきたら電動ろくろにも挑戦する。 自ら制作した作品を通して、日常で使用している陶器を大切に扱う心を養う。	0				知:粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや 弓などの道具を活用して、作品制作してい る。 - 思:回転するろくろに置かれた粘土から、物 の理を感じる事ができる。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0 0	0 0	0	26
2 学	とを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れているという事に気付かせる。			0	С	知:デジタル表現をアナログ表現に転換する 事ができる。 思:自分の追い求める作品を目指して、思考 し、判断し、表現しようとしている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	6

0

0

0

0

いる。

入れている。

え、画面を構成している。

【学びに向かう力、人間性等】

作品を通して何を考え、何を伝えようとし、ど 粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

知:版画にするには、原画をどのように転写

オール固にするには、 すればよいか理解している。 思:自分の求めるイメージを目指して、思考

し、彫刻している。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで

知:効果的な視覚伝達デザインの方法を取り

思:誰に何をどのように伝えるのか、その為 にはどのような表現方法が適切であるかを考

態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで

0 0 0 26

 \circ

20

合 計 78

 高等学校
 令和7年度
 (4学年用)
 教科
 芸術
 科目
 発展美術

 芸術
 科目:
 発展美術
 単位数:
 2
 単位

教 科 : 芸術 科 目 : 発展美術

対象学年組:第 4 学年 1 組

教科担当者: 旭 仁也

使用教科書: (日本文教出版 高校生の美術皿)

教科 芸術科 美術 の目標: 授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 発展美術 の目標: 多様な表現の展開を学び、自己の価値観を掘り下げるとともに、作品を介して伝える。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。
光二の目体がかた道口標	表現絵	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵· 彫	表現 デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	能	配当時数
1 学	内容:自己表現の追求、その1 目標:自己の内面と向き合い、作品	これまで取り組んできた美術の授 業の総まとめとして、自己が表現 したいことは何なのかを考えさ せ、作品制作に取り組ませる。 対話を通じ、自己の趣味や思考を	0	0	0	0	知:これまで学んできた表現方法や技法などを参考に、自己表現を深化させている。 思:完成後の作品展示も見据え、構想を膨らませんている。	0	0	0	26
	を通じて、表現したいことを具現化 する。		0	0	0	0	作品制作するうえで必要な要素を判断し、自己表現に取り入れようとしている。 態:構想段階から完成後の作品展示まで通して、真剣に授業課題に取り組んでいる。	0	0	0	
2 学	とを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 同一デーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見か た、見え方は単一ではなく多様性 に溢れているという事に気付かせる。			0	0	知:デジタル表現をアナログ表現に転換する 事ができる。 思:自分の追い求める作品を目指して、思考 し、判断し、表現しようとしている。 態:真剣に楽しんで、授業課題に取り組んで いる。	0	0	0	6
期	内容:自己表現の追求 その2(前半) 目標:自己の内面と向き合い、作品 を通じて、表現したいことを具現化 する。		0	0	0	0	知:1学期の学習内容を踏まえたうえで、作品制作に必要な表現方法や技能を見極め、取り組んでいる。	0	0	0	26
3 学	内容:自己表現の追求 その 2 (後半)	作品展示の方法や見せ方など、自 己表現に込めた制作意図を鑑賞者 に伝えるためには、どのようにし	0	0	0	0	思:作品制作するうえで必要な要素を判断し、自己表現に取り入れようとしている。 完成後の作品を展示するために、どのような 方法や形態で行えば制作意図が鑑賞者に伝わるかを検討し、必要な手段を講じている。	0	0	0	20
期	目標:自己の内面と向き合い、作品 を通じて、表現したいことを具現化 する。	たら良いかを考えさせ、取り組ませる。					態:真剣かつ意欲的に、授業課題に取り組ん でいるか。				合 計 78

外国語 ^{単位数・} 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 ト国語 科 目: 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーションI 科目 「**下二四百 作** 単位数: 2 単位

高寺子仪 〒和 / 平及 (「子平用) 教 教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーショ 対象学年組:第 1 学年 教科担当者: (1組:会 坂) 使用教科書: (開隆堂出版 「Amity English Communication I」 教科 外国語 の目標:

科目 英語コミュニケーション I

# 2	中学の既代				_	領均	ŧ					Г	i
・ 本語の	Get Ready (単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読		_	書	評価規準	知	思	態	
************************************	や 現 が		・ 大文字・ 小文字 ・ フォニックス・アルファベット ・ 和製英語・英語になった日本語 ・ 曜日・月の名前、数字 ・ クラスルームイングリッシュ ・ 品詞、辞書の使い方	0	0	0	0	0	ている。 【思考力、利断力、表現力等】 テーマについての表現を用いて、意見や考え、気持ちなどを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての表現を用いて、自分の意見や	0	0	0	
本語の文字の音楽を表していまった。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日本の絶景) ① 現在の表現を理解し、活用できる。 6気に入りの場所を紹介できる。 行ってみたい場所について進んで話し	・教科書、補助プリント	0	0	0	0	0	らえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入 の場所などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お気に入りについて考えや気持ちを伝えようと	0	0	0	
Laurent Tills Institution Security (世界 1	Lesson 1 Nét 表	新単な英語の質問を聞き取れる 質問の応答や自分の考え・意見などを	・あいさつ/自己紹介 ・Animals (I like ~.) ・Do you like ~?	0	0	0	0		える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考	0	0	0	
Table Name Name Name Name Name Name Name Nam	中 3. 1 に 1 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に	明考査 							ATXIITOEIAAA JE DEVIG.			H	ł
Aut 1	- 簡単的な次だとか。 -	日本の絶景)② 現在の表現を理解し、活用できる。 お気に入りの場所を紹介できる。 行ってみたい場所について進んで話し	教科書、補助プリント						らえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入 の場所などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お気に入りについて考えや気持ちを伝えようと			0	
1	Leason 2 (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	新単な英語の質問を聞き取れる。 質問の応答や自分の考え・意見などを	・日常生活で使用する表現(S+V) ・Body Parts ・What is your favorite ~?	0	0	0	0		D CV*000	0	0	0	
- 数目表 補助プリント - 大切によからからいたらもの。 - 数目表 補助プリント - 大切によからたがらく。 - 2004人体の気持ちになって、心の曲を を結し合うことができる。 - 2004人体の気持ちを描えてので、考えや気持ちを描えることができる。 - 2004人体の気持ちを描える。 - 2004人のいのにより表します。 - 100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(も減) (も減) (も減) (も減) (も減) (も減) (も減) (も減)	非考查								0	0	-	l
・簡単文集語の質問を関き取れる。 ・質問の広答や自分の考え・意見な ・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(ちびまる子ちゃん) 過去の表現を理解し、活用できる。 □切にしている人などを紹介できる。	- be動詞/一般動詞の「過去形」 - 教科書、補助プリント - 視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0	0	0	0	0	らえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動剤・一般動剤の過去形を用いて、日常生活 について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活について、考えや気持ちを伝えようと	0	0	0	
Lasson d Love for Innove Lasson d Love for Innove for Innov	Lesson 3 L (簡単な英語の質問を聞き取れる。 質問の応答や自分の考え・意見な	・日常生活で使用する表現(S+V) ・Do you like ~? ・What is your favorite ~?	0	0	0	0		身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考	0	0	0	
Lasson 4 Endangered Species	(や) (や) (や) (や) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か	明考査								0	0	۲	t
・簡単な業語の質問を聞き取れる。 ・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる。 ・	- 簡単な英述 ・ 質問のださった。 ・ 伝えることっ 定期考査 Lesson 4 Er (1 ・ もの たか。 ・ 好き液化です。 ・ か、進んです。 ・ 質問はいる 英応 ・ 質問はな 英応	(ダンスのちから) 整行形や助動詞canなどの表現を理解 活用できる。 をや写真を見て思ったことや感じたこ 表現できる。 景のダンスのちからについて、進ん 私し合うことはできる。	 教科書、補助プリント 視聴覚教材/一人一台端末の活用 等 	0	0	0	0	0	を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 提示された写真や映像について、考えや気持ち	0			
Lesson 4 Endangered Species	Lesson 4 Er († to 不定詞 る。 ・好きな動料 か、進んで English Co ・簡間の応	新単な英語の質問を聞き取れる。 質問の応答や自分の考え・意見などを	 How was your day? Thank you for your ~. 	0	0	0	0		える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考 えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考	0	0	0	
(世界の絶越危機能) - 教科書、補助プリント - 初を全験的について紹介できる。 - 好きな動物について紹介できる。 - 好きな動物について紹介できる。 - 好きな動物について紹介できる。 - 所書な大部に自合うことはできる。 - 新また Company (連行形/描 - 質問の広答や自分の考え・意見などを伝えることができる。 - 新ま tare you doing ? (連行形/描 - 写問の応答や自分の考え・意見などを伝えることができる。 - 「別面板び技能】 デーマについての表語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようことができる。 - 「別面板び技能】 デーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようことができる。 - 「学びに向かう力、人間性等】 アーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 - 「学びに向かう力、人間性等】 デーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようことができる。 - 「学びに向かう力、人間性等】 デーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようことができる。 - 「学びに向かう力、人間性等】 デーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようことができる。	to 不定詞 る。 好きながは か、進んで言 English Cc ・簡質問 での応			0	0	0		0		0	0		ĺ
・簡単な英語の質問を聞き取れる。 ・簡単な英語の質問を聞き取れる。 ・簡単な英語の質問を聞き取れる。 ・質問の応答や自分の考え・意見な どを伝えることができる。 「思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	・簡単な英・質問の応	(世界の絶滅危惧種)	教科書、補助プリント	0	0	0	0	0	けている。 【思考力、判断力、表現力等】 《京詞を用いて、好きな動物について、考えや 気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや	0	0	0	
定期考査 〇〇〇〇〇		簡単な英語の質問を聞き取れる。 質問の応答や自分の考え・意見な	・What are you doing ? (進行形/描写) ・What are you good at?	0	0	0	0		える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考	0	0	0	
	定期考查	明考査		0	0	0		0		0	0	г	t

高等学校 令和7年度 (2学年用) 教科 外国語 科 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数: 2 単位 英語コミュニケーションI 科目

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

数 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数: 2 単位
対象学年根:第 2 学年
教科担当者: (1組:会 坂)
使用教科書: (開降堂出版「Amity English Communication I」)

数科 外国語 の目標:
【知 謙 及 び 技 能 】 外国語によるコミュニケーションから必要な情報や考えなどを聞き取り、話し手の意図を的確に理解できる。
【思考力、判断力、表現力等】
【空びに向かう力、人間性等】
・ 「学びに向かう力、人間性等】
・ 「知識及び技能】 の目標:
「知識及び技能】 の目標:
「知識及び技能】 「風味の社技能】 (思考力、判断力、表現力等)
「知識及び技能】 (思考力、判断力、表現力等)
「学びに向かう力、人間性等】 (関いたり誘んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用 関いたり誘んだりしたことを基に、情報や考え、自分の気持ちなどを簡単な英語を使って話そうとする要勢を養う。

	領域											55
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	图	読	話「や」		- 1	評価規準	知	思	態	当時数
	Lesson 5 The History of Chocolate (チョコレートの歴史)	・動名詞 ・教科書、補助プリント					T	【知識及び技能】 動名詞について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。				
	・動名詞の表現を理解し、活用でき	・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0					【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて、チョコレートの歴史や贈り	0	0	0	10
	る。 ・プレゼントについて説明できる。 ・チョコレートの歴史やプレゼント							【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を用いて、チョコレートの歴史や贈り))	
	について、進んで話し合うことがで きる English Conversation	【ALTとのTT授業】	-	-	+		\perp	たいプレゼントについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点を				-
	・簡単な英語の質問を聞き取れる	・あいさつ/自己紹介 ・About the World						とらえる技能を身につけている。				
	・質問の応答や自分の考え・意見な どを伝えることができる	・数字(サイズ、時計、誕生日)	0	0	0	С)	【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	3
								【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。				
1	定期考査		С	0	0		0		0	0		1
学期	Lesson 6 Our School (私たちの学校)	・比較級・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 比較級について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。				
	・比較の表現を理解し、活用でき る。	・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0	0	0	С	0	【思考力、判断力、表現力等】 比較級を用いて、学校生活について、考えや 気持ちを話して伝えることができる。	0	0	0	9
	・学校の特徴について紹介できる。・高校生活でどんなことをしてみた							【学びに向かう力、人間性等】 学校生活について、考えや気持ちを伝えよう				
	いか、進んで話し合うことができ ス English Conversation	【ALTとのTT授業】		H	+		-	としている。 【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技				-
	・簡単な英語の質問を聞き取れる。 ・質問の応答や自分の考え・意見な	 How was your day? What is your favorite ~? What are you into? 						能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
	どを伝えることができる。	• New words and phrases	0	0	0	С		考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	4
	定期考查			L	L			【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。				
	正州 考堂								0	0		1
	Lesson 7 Serendipity (セレンディピティ)	・現在完了 ・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 現在完了 (継続、経験、完了・結果) について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。				
	・現在完了の表現を理解し、活用できる。・世の中にはどのようなセレンディ	・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0			C	0	【思考力、判断力、表現力等】 提示された内容について、考えや気持ちを話 1 アドネフいス	0	0	С	12
	ピティがあるか調べ、発表できる。 ・身近にあるセレンディピティにつ		ľ					して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 提示された内容について、考えや気持ちを伝		0)	
	いて、進んで話し合うことができ ス English Conversation	【ALTとのTT授業】	-					「知識及び技能」テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点を				
	・簡単な英語の質問を聞き取れる。	· How was your vacation? · Shopping						とらえる技能を身につけている。				
	・質問の応答や自分の考え・意見な どを伝えることができる。	• Thank you for your ∼. • New words and phrases	0	0	0	С		【思考力、判断力、表現力等】 デーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	3
								【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。				
2 学	定期考查								0	0		1
期	Lesson 8 Sappeurs (サプール)	・受動態(受け身)・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 受動態について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。				
	・受動態(受け身)の表現を理解し、活用できる。・自分の宝物について紹介できる。	・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0	0	0	С	0	【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いて、サプールや服装について、 考えや気持ちを話して伝えている。	0	0	0	10
	・サプールの人々の考え方について、進んで話し合うことはできる。							【学びに向かう力、人間性等】 受動態を用いて、サプールや服装について、				
	English Conversation	【ALTとのTT授業】 ・Telling the Way		\vdash	H			考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点を はたる之状態も似たのはている。				
	・簡単な英語の質問を聞き取れる。 ・質問の応答や自分の考え・意見な	• What are you doing? • What are you good at?						とらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の	_	_	0	
	どを伝えることができる。	• New words and phrases			0			考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かうカ、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の		0	0	3
	定期考査							者之や気持ちを伝えようとしている。				<u> </u>
H	Lesson 9 Special Makeup Effects	・現在分詞、過去分詞	С	0	0		0	【知識及び技能】 「分詞」について理解し、概要や要点をとらえる技能を身	0	0		1
	(特殊メイク) ・分詞の表現を理解し、活用できる。	・教科書、補助プリント ・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等						につけている。				
	自分が好きな映画やテレビ番組に ついて紹介できる。		0	0	0	С	0	【思考力、判断力、表現力等】 分詞を用いて、特殊メイクやアーティストについて、考えや気持ちを話して伝えている。	0	0	0	15
	・世界で活躍する特殊メイク・アー ティストの生き方について、進んで 話し合うことができる。							【学びに向かう力、人間性等】 分詞を用いて、特殊メイクやアーティストについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。				
3 学	English Conversation	【ALTとのTT授業等】 ・Quiz and Review		t	t	H	t	【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点を とらえる技能を身につけている。		H	H	
期	・簡単な英語の質問を聞き取れる。 ・質問の応答や自分の考え・意見な	• New words and phrases						【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
	どを伝えることができる。		0	0	0	C		考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かうカ、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の	0	0	0	4
								考えや気持ちを伝えようとしている。				
	定期考査		С	0	0		0		0	0		1
												台計
												78

外国語 科 ^{単位数: 3} 単位 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 科目 英語コミュニケーションⅡ

科 目: 英語コミュニケーションⅡ

Ī					領域	ŧ						56
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	[ゆ] 器	話[発]	書	評価規準	知	思	態	当時数
	Lesson 1 Places Worth Visiting (行ってみたい場所)	・want to ~ / want 人 to ~ ・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。				_
		・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0		0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを 話して伝えている。	0	0	0	1
ı								届している。 【学びに向かうカ、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に				
ı	English Conversation	【ALTとのTT授業】						ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点を			-	_
ı		・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを						とらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
		伝えることができる	0	0	0	0		考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	
	True de Tr							【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝えようとしている。				
ı E	定期考查 Lesson 2 Iwago Mitsuaski: Animal	・経期詞++o 不定詞	0	0	0		0	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に	0	0		
	Photographer (動物写真家 岩合光昭)	・疑問詞+to 不定詞 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等						つけている。				
			0	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを 話して伝えている。	0	0	0	
ı								【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。				
ı	English Conversation	【ALTとのTT授業】						【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。				_
		・英語の質問を聞き取れる・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	0	0	0	0		【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	
ı		Mr. 9 - C 11 - C 2 - 9						【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
	定期考査					_		考えや気持ちを伝えようとしている。	0	0		
_	Lesson 3 The Haka	· 分詞						【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に	O	0		_
	(世界の文化:ハカ)	・教科書、補助プリント ・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等						っけている。				
			0	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを 話して伝えている。	0	0	0	
								【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。				
	English Conversation	【ALTとのTT授業等】						【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。				
		・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを	0	0	0	0		【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	
		伝えることができる						【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
	定期考査							考えや気持ちを伝えようとしている。	0	0		
ė Fl	Lesson 4 Degital Detox (デジタルデトックス)	・if 節・疑問詞節 ・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。				-
		・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを	0	0	0	
ı				ľ		_		話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に	_	_		
ı	English Conversation	【ALTとのTT授業等】						ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技			_	_
ı		・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる						能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
		・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	0	0	0	0		者之や気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	
								【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝えようとしている。				
	定期考查 Lesson 5 Goal Setting	• seem	0	0	0		0	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に	0	0		
	(目標設定)	・教科書、補助プリント ・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等						つけている。				
			0	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを 話して伝えている。	0	0	0	:
								【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。				
	English Conversation	【ALTとのTT授業等】						【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技	H			_
Ą		・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる						能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
J		・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	0	0	0	0		考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	
								【学びに向かう力、人間性等】 デーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝えようとしている。				
J	定期考查		0	0	0		0		0	0		
1										П	7	1

外国語 ^{単位数・} 高等学校 令和7年度(4学年用) 教科 英語コミュニケーションⅡ 科目

科 目: 英語コミュニケーションⅡ

科目 英語コミュニケーションⅡ

科目 英語コミュニケーション II の目標:

【知識及び技能】

必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができ、概
要や要点を目的に応じてとらえること、基本的な英語表現を理解
し、場面に応じて活用することができる力を養う。

【思考カ、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

関いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文、や
関いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、自
サ 公の気持ちなどを簡単な英語やや心応用的な表現を
に注意して話すことや書くことによって伝え合うことがで
きる力を養う。

【思考カ、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

「学びに向かう力、人間性等】

「関いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、自
サ 公気持ちなどを簡単な英語やや心応用的な表現を
し、場面に応じて活用することができる力を養う。

			L	_	領地	_	1					配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話「や」		-	評価規準	知	思	態	当時数
	Lesson 6 The High School Hair Salon	・助動詞(must) + have 過去分詞 (~し たにちがいない 等)						【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。		П		
	(高校生美容室)	・教科書、補助プリント ・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	С	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。	0	0	0	10
	English Conversation	【ALTとのTT授業】						【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 デーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。		-		-
		・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	С	0	0	0		【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	3
								【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。				
1	定期考査		С	0	0		0		0	0		1
学期		・過去完了形 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等						無数び技能】 合表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを また」で応えている。	0			1,
			C				0	【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に	0	0	0	10
	English Conversation	【ALTとのTT授業】	H				1	ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技		H		
		・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	С	0	0	0		能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	3
								【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝えようとしている。				
	定期考査								0	0		1
	Lesson 8 Nudge (小さな工夫で人を動かす)	・関係代名詞 what ・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。				
		・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	О	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。	0	0	0	10
	English Conversation	【ALTとのTT授業等】						【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技				
		・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる		0				にを身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の		0		3
		・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる						考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				3
2	定期考査				\vdash			考えや気持ちを伝えようとしている。	0	0		1
学期	DIOCKS	・関係副詞 where ・教科書、補助プリント						【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。		П		
	(点字ブロックの父)	・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	С	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを 話して伝えている。	0	0	0	11
	English Conversation	[ALT], comm43 46 Ath [【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。				L
	English Conversation	【ALTとのTT授業等】 ・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる						【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の				
		・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	С	0				考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の	0	0	0	4
	定期考査		С		0	,	0	考えや気持ちを伝えようとしている。	0	0		1
	Lesson 1 0 Do We Need That? (そのサービスは必要ですか)	・使役動詞(make / let / have) ・教科書、補助プリント	l	T	T	T		【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身に つけている。		П		T
		・視聴覚教材/一人一台端末の活用 等	О	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを 話して伝えている。	0	0	0	13
								【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容に ついて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。				
3学期		【ALTとのTT授業等】	l	t	t		T	【知識及び技能】 デーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。				l
		・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを 伝えることができる	С	0	0	0		【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の 考えや気持ちを伝え合うことができる。	0	0	0	6
								【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。				
	l	+	+	+-	+-	+	-	 	0	Н	\vdash	+ -
	定期考查		С	0		1	0		L	0	L	1

 高等学校 令和7年度 (2 学年用) 教科
 家庭科
 科目
 家庭総合

 『庭科
 科目: 家庭総合
 単位数: 2 単位

 教 科: 家庭科
 科 目: 家庭総合

 対象学年組:第 2 学年 1 組

教科担当者:

使用教科書: (高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる

の目標: 授業を通して生活に必要なスキルと知識を身に付ける。

【知 識 及 び 技 能】 道具の特性を理解し、課題制作に適切に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 授業を通して思考し、生活に必要な知識を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 家庭総合 の目標: 多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	授業を通して何を考え、何を伝えようとし、生活の場面でどう表現したらよいかを具現化しようとしている。	

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当時数
1 学期	○生涯発達する自分 ・青年期を生きる ・キャリアの形成 ○経済生活をつくる ○被服製作 ・私たちと衣生活 ・被服の機能 ・被服の選び方	・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまと める。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	27
	定期考査			0	0		1
2 学期	○人の一生と被服 ○人の一生と食事 ・人体と栄養 ・炭水化物 ・脂質 ・タンパク質 ・ミネラル ・ビタミン ・嗜好食品と健康増進のための食品 ・食品の安全と衛生	・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人 1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまと める。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	29
				0	0		1
3 学期		・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまと める。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	19
	定期考査			0	0		1 合計

 高等学校 令和7年度 (3 学年用) 教科
 家庭科
 科目
 家庭総合

 『庭科
 科目: 家庭総合
 単位数: 2 単位

 教 科: 家庭科
 科 目: 家庭総合

 対象学年組:第 3 学年 1 組

教科担当者:

使用教科書: (高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる

の目標: 授業を通して生活に必要なスキルと知識を身に付ける。

【知 識 及 び 技 能】 道具の特性を理解し、課題制作に適切に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 授業を通して思考し、生活に必要な知識を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 家庭総合 の目標: 多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	授業を通して何を考え、何を伝えようとし、生活の場面でどう表現したらよいかを具現化しようとしている。	

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当時数
1 学期	○生涯発達する自分 ・青年期を生きる ・キャリアの形成 ○経済生活をつくる ○被服製作 ・私たちと衣生活 ・被服の機能 ・被服の選び方	・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまと める。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	27
	定期考査			0	0		1
2 学期	○人の一生と被服 ○人の一生と食事 ・人体と栄養 ・炭水化物 ・脂質 ・タンパク質 ・ミネラル ・ビタミン ・嗜好食品と健康増進のための食品 ・食品の安全と衛生	・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人 1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまと める。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	29
				0	0		1
3 学期		・教材 教科書, ワーク, プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまと める。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	0	0	0	19
	定期考査			0	0		1 合計

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 情報 科目 情報 I

 有子文 マルノ 十及 (「子十万) 教付 情報

 教 科: 情報
 科 目: 情報 I
 単位数: 2
 単位数: 2

教 科: 情報 対象学年組:第 1 学年 教科担当者: 谷地 永城

使用教科書: (高等学校 情報 I (数研出版)) 教科 情報 の目標:

【知 識 及 び 技 能】問題の発見・解決の方法を理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を身に付けることができる。

【学びに向かう力、人間性等】情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して、情報社会に主体的に参画することができる。

科目 情報 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
	ワープロソフトの使い方	 ワープロソフトの使い方を知る ホームボジションを身につける タイビングの速度を向上させる 文字配置を変更できるようになる レイアウトを変更できるようになる 図表の挿入の仕方を学ぶ 	・ワープロソフトを使えるようになり、タイビング速度を向上させることができたか。 ・文章のレイアウトを自在に整えることができるようになったか。	0		0	10
1 学 期	コンピュータのしくみ	・コンピュータの五大装置について学ぶ ・ハードウェアのはたらきを知る ・コンピュータのスペックの調べる ・OSの種類と機能を知る ・ファイルシステムを理解する ・拡張子のはたらきを理解する	・ハードウェアのはたらきを理解し、説明できるようになったか。 ・ソフトウェアのはたらきを理解し、説明できるようになったか。	0			9
	表計算ソフトの使い方	・表計算ソフトの基本操作を学ぶ ・オートフィル操作をできるようにする ・数式や関数を使えるようにする ・グラフの作成方法を学ぶ ・回帰直線を用いて推定を行う ・グラフの注意点を学ぶ	・表計算ソフトをの基本的な技能(入力、 オートフィル、数式、関数、グラフ)を身に 付けることができたか。 ・表計算ソフトを用いて、効率よく問題を解 決することができたか。	0	0		9
	プレゼンテーションソフトの使い方	・ソフトの基本操作を学ぶ・プレゼンテーションスキルを身につける	・プレゼンテーションソフトの基本操作を身 につけることができたか。	0			4
	プレゼンテーション	 人に伝わる話し方を身に切ける プレゼンテーションの構想を練る 人に伝わるスライドを作る 本番に向けてリハーサルをし、スムーズに発表できるようにする 聴表できずでプレゼンをする 他者の発表を評価する 	 人に伝わるプレゼンとはどのようなものか理解できたか。 人に伝わるスライドを作ることができたか。 ・聴衆の興味を引くプレゼンテーションを行うことができたか。 ・他者のプレゼンテーションを評価し、改善点を考えることができたか。 		0	0	7
2 学 期	ビジュアルプログラミング	・アルゴリズムを考えることの重要性を知る ・プログラミングの仕組みを理解する ・Scratchでプログラミングを行う ・コンピュータが動く仕組みを理解する ・よいアルゴリズムとは何かを考える	 コンピュータはアルゴリズムに従って情報を処理していることを理解できたか。 アルゴリズムを考え、プロックでプログラミングをすることができたか。 アルゴリズムの良し悪しについて考察し、他者に説明できたか。 	0	0	0	8
	デジタル情報の表現	2進法の教え方に慣れる 情報量の単位を理解し計算できるようになる 2進数の足し算、掛け算ができるようになる 2進数 10進数、2進数 16進数の基数変換ができるようになる	 ・情報量の単位を理解して、計算問題を解くことができたか。 ・2進数どうしの足し算、掛け算について理解し、計算問題を解くことができたか。 ・計算によって基数変換をすることができるようになったか。 	0			8
	アナログとデジタル	・アナログ、デジタルとは何かを理解する・アナログ、デジタルのメリット、デメリットを理解し説明できるようになる	・アナログ、デジタルのメリット、デメリットを理解し、説明することができたか。	0	0		4
	文字、音声、画像、動画のデジタル 化	・文字情報を届ける仕組みを理解する ・文字コード表を読み取ることができるようになる ・文字コードの歴史や種類について知る ・文字化けとはどのような現象なのかを体験し、理解する ・音声、画像、動画のデジタル化の仕組み について理解する	・文字情報を届ける仕組みやその歴史を理解 することができたか。 ・様々な情報が、標本化、量子化、符号化の 手順でデジタル化されていることを理解し、 他者に説明することができたか。	0			6
3 学	プログラミング	・コンピュータは人間からの命令に従って 情報を処理しているということを理解する ・プログラミングによってコンピュータに 命令を行い、簡単な計算を自動化すること ができるようになる	・入出力、変数、データ変換などのPythonの基本操作を習得できたか。 ・簡単な計算をコンピュータが処理できる形にモデル化できたか。 ・基本操作を基に、簡単な計算を自動化する仕組みをつくることができたか。	0	0	0	5
期	情報技術が社会に及ぼす影響	・様々な事象を情報とその結び付きとして 捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身 に付ける ・情報と情報技術を適切に活用するととも に、情報社会に主体的に参画する態度を身 に付ける。	・問題の発見を行うことができたか。 ・問題解決に向けて計画を立てることができたか。 ・計画に従って問題解決を実行できたか。 ・計画とおりにいかなくなった際、軌道修正 することができたか。 ・問題を解決したことを、客観的に評価する ことができたか。	0	0	0	8 合計 78

高等学校 令和7年度(1~3学年用) 教科

総合探究 科目 総合的な探究の時間

科 目: 総合的な探究の時間 単位数: 1 単位 教 科: 総合探究

対象学年組:第 1~3 学年 組~組

教科担当者: 全教員

使用教科書:

教科 総合探究 の目標:

【知識及び技能】 自己の在り方や生き方を考え、他社と協働的に取り組む経験を蓄積する。

【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題を発見し、解決の方法を探究していく能力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】 横断的・総合的な課題に主体的に取り組もうとする。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己の在り方や生き方を考え、他社と協働的に取り組 む経験を蓄積する。	様々な講座の中から選択した学習を通じて自らの 課題を発見し、解決の方法を探究していく能力を 育成する。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	組む。	自己表現とは何かを掘り下げ、見えてきたものを具現化していく。 ・楽しくスポーツ 好きなスポーツを探究するとともに、体育の授業では経験できないスポーツも体験する。	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。		0	0	14
2学期			田席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。		0	0	15
3 学	組む。	・総合教養 地域探究として、大島の名物、特産品、 名所、方言などを調べ、発表する。	出席状況、授業に対する取り組み状況など を総合的に判断して文章で評価する。	0	0	0	
期							合計 39

高等学校 令和7年度(1~3学年用) 教科

人間と社会

)

教 科: 人間と社会 単位数: 1 単位

対象学年組:第 1~3 学年 組~組

教科担当者: 全教員 使用教科書: (人間と社会(東京都教育委員会)

教科 人間と社会 の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

科目 人間と社会 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	体験活動を通じて道徳性を養い、自分自身の価値観に基づく判断基準を形成し、社会的現実に照らしてよりよい生き 方を主体的に選択し行動する力を養う。	
		ふ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ることの意義を学ぶ。	・「人間と社会」で育成したい資質・能力や評価について説明する・郷土の自然維持や環境美化の体験活動の意義について考える。また周囲の人々に配慮しながら安全に活動を行うための注意点について説明する。 ○体験活動1 大島の環境美化活動(和泉浜海浜清掃)(1)郷土を大切にする心を養う連携先と付いではある。 1 科学技術と生命倫理(1)内容についてグループ討論する・ケーススタディあなたならどうする?で議論する	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	0	0	0	7
2 学期	ることの意義を学ぶ。	○事前学習 2 ・体験活動の意義と安全に「火の用心」を行うための注意点について ○体験活動 2 地域社会の安全向上のための活動(夜間パトロール) (1) 郷土を大切にする心を養う連携先 大島警察署 2 国際平和を築く (1) 内容について学ぶ (2) 内容について学ぶ (2) 内容について考え、グルーブ討論する・ケーススタディ あなたならどうする?で議論する	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	0	0	0	6
3 学期	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。		出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	0	0	0	2 合計 15